

12 店舗

(2019年1月31日現在)

那覇市

本店営業部

那覇市久茂地1-11-1
098-866-1212



- 1948. 5. 1 那覇市東町1丁目10番地にて創業、元日本勧業銀行及び隣接する元鹿児島興業銀行の各那覇支店跡廃墟を緊急改修のうえ営業を開始
- 1950. 9.12 金庫室、倉庫新設
- 1952. 1. 5 本館（元日本勧業銀行那覇支店跡）一部3階増築
- 1966. 8. 1 現在地へ新築移転
- 1969.12.22 4.5階増築
- 1979.12. 3 本店正面玄関・1階ロビー増改築

県庁出張所

那覇市泉崎1-2-2（県庁庁舎内1階）
098-862-0185



- 1958.11.10 琉球政府庁舎内に「琉球政府庁舎内出張所」新設
- 1972. 5.15 「県庁内出張所」へ改称
- 1990. 2.13 支店昇格 名称を「県庁支店」へ
- 2001. 6.11 名称を県庁支店から「県庁出張所」へ

那覇市役所内出張所

那覇市泉崎1-1-1（那覇市役所本庁舎内1階）
098-868-6662



- 1968.11.13 那覇市役所内に「那覇市役所内出張所」新設
- 2009. 9.24 那覇市役所仮庁舎内(那覇市上之屋)へ移転
- 2013. 1. 4 那覇市役所新庁舎へ移転

那覇空港内出張所

那覇市字鏡水150（那覇空港国内線ビル1階）
098-857-6898



- 1968.11.13 那覇空港内に「那覇空港内出張所」新設
- 1999. 5.26 那覇空港新ターミナルへ移転

那覇ポート支店

那覇市久米1丁目24-1
098-868-5181



- 1978.10. 1 那覇市東町に新設（元アメリカ銀行那覇支店を継承）
- 1993. 9.27 改築
- 2000. 5.15 名称を那覇ポート支店から「那覇ポート出張所」へ
- 2017.11.15 支店昇格し名称を「那覇ポート支店」へ
- 2019. 1.21 那覇市久米1丁目（旧上ノ蔵支店）へ移転

那覇出張所

那覇市松山1-34-1
098-866-3911



- 1958. 9. 1 那覇市松山に「若松支店」として新設
- 1974. 5.20 那覇市松山2丁目へ改築移転
- 1975. 4. 1 若松支店から「那覇支店」へ改称
- 2000. 8.21 名称を那覇支店から「那覇出張所」へ
- 2018. 2.26 「若狭支店」内へ移転

若狭支店

那覇市松山1-34-1
098-868-2111



- 1966. 8. 1 「東町支店」として旧本店跡に新設
- 1971. 3.15 那覇市久米へ移転、「上ノ蔵支店」へ改称
- 2017. 1.10 現在地へ移転、「若狭支店」へ改称

樋川支店

那覇市楚辺1-3-25
098-855-6151



- 1968.12. 2 「松尾支店樋川出張所」として那覇市樋川21番地に新設
- 1970.11.24 支店昇格し那覇市二中前309番地に移転
- 1977.12.26 現在地へ移転

松尾支店

那覇市牧志1-2-24
098-861-0111



- 1952.10.1 那覇市10区4組に新設
- 1958.2.8 店舗増築
- 1984.2.13 店舗新築のため仮店舗へ移転
- 1985.3.18 現在地へ移転
- 2002.6.26 店舗改装しインプラチナストア開設

壺屋支店

那覇市安里2-1-1
098-867-7121



- 1949.10.1 「本店営業部壺屋預金取扱所」として那覇市4区に新設
- 1951.1.3 支店昇格、那覇市4区8組へ新築移転
- 1956.1.28 那覇市牧志3丁目へ新築移転
- 1982.12.20 店舗増改築
- 2017.3.6 現在地へ移転

牧志市場出張所

那覇市松尾2-10-10
098-866-1025



- 1971.11.1 那覇市牧志町に「牧志支店」として新設
- 1972.9.1 那覇市牧志町1丁目814番地へ移転
- 1980.11.4 現在地へ改築移転し「牧志市場支店」へ改称
- 2001.3.12 名称を牧志市場支店から「牧志市場出張所」へ

泊支店

那覇市泊1-6-6
098-867-0151



- 1961.10.2 那覇市泊に新設
- 1984.6.18 現在地に移転

大道支店

那覇市字大道128-3
098-887-0171



1968. 4. 2 | 那覇市字大道67番地に新設
1973. 1.16 | 現在地へ移転

与儀支店

那覇市寄宮2-38-22
098-854-0191



1962.11. 1 | 那覇市樋川に新設
2018.12. 3 | 「寄宮支店」内へ移転

寄宮支店

那覇市寄宮2-38-22
098-854-1124



1969. 2. 3 | 那覇市字寄宮153番地の3に新設
1983.11.28 | 現在地へ移転

石田出張所

那覇市繁多川1-6-18
098-854-1137



2011. 2. 7 | 現在地に「石田出張所」として新設
愛称「ハロープラザ石田店」

小禄支店

那覇市鏡原町34-47
098-857-2101



- | | |
|------------|------------------|
| 1967.10.2 | 那覇市鏡原町3丁目に新設 |
| 1973.10.15 | 那覇市字鏡原町36番地の7へ移転 |
| 2010.10.25 | 現在地へ移転 |

田原支店

那覇市字小禄902-3
098-857-0391



- | | |
|-----------|----------------|
| 1974.2.18 | 那覇市字田原229番地に新設 |
| 1986.9.19 | 店舗増改築 |
| 2016.7.19 | 現在地へ移転 |

金城支店

那覇市金城5-4-11
098-858-3933



- | | |
|-----------|----------|
| 1997.3.18 | 那覇市金城に新設 |
|-----------|----------|

安謝支店

那覇市曙3-2-1
098-861-2011



- | | |
|------------|------------------------------|
| 1970.10.12 | 「泊支店安謝出張所」として那覇市安謝676番地の3に新設 |
| 1971.10.1 | 支店昇格し名称を「安謝支店」へ |
| 1972.4.17 | 現在地へ新築移転 |

安謝市場出張所

那覇市字安謝248-9
098-861-7116



1982. 12.13 | 那覇市安謝に新設

那覇新都心支店

那覇市銘苅2-2-1
098-864-2233



2007.12.25 | 那覇市銘苅に新設

真嘉比支店

那覇市松島1-4-8
098-886-1510



2013. 3. 4 | 那覇市松島に新設

古島支店

那覇市松島1-4-8
098-886-1217



1983. 4.27 | 「大道支店 末吉出張所」として那覇市首里末吉に新設
1989. 5.15 | 支店昇格、移転と同時に「古島支店」へ改称
2018. 7.17 | 「真嘉比支店」内へ移転

首里支店

那覇市首里鳥堀町1-20
098-886-1125



- 1969. 2. 3 「大道支店首里出張所」として那覇市首里鳥堀町1丁目45番地に新設
- 1970.10.26 支店昇格し名称を「首里支店」へ
- 1976. 5.10 現在地へ新築移転

石嶺支店

那覇市首里石嶺町4-44
098-886-2211



- 1971.12.13 那覇市首里石嶺町3丁目213番地に新設
- 1972. 5.12 那覇市首里石嶺町4丁目へ移転
- 1990. 6. 4 現在地へ移転

古波蔵支店

那覇市古波蔵3-19-1
098-854-1113



- 1971.11. 1 那覇市字古波蔵403番地の1に新設
- 1981. 3. 9 現在地へ新築移転

国場支店

那覇市字国場272-1
098-854-0225



- 1971.11. 1 那覇市字国場219番地に新設
- 1982. 7. 7 現在地へ新築移転

南部

豊見城支店

豊見城市字上田552-1
098-856-0220



- | | |
|------------|--------------------------|
| 1971.11. 1 | 豊見城村字高安414番地に新設 |
| 1972. 4.17 | 豊見城村字高安414番地に移転（開設時店舗の隣） |
| 1986. 8.18 | 現在地へ移転 |

糸満支店

糸満市字糸満1492
098-994-4141



- | | |
|------------|--------------------------------|
| 1946. 5. 1 | 「沖縄中央銀行 糸満支店」として糸満町4区25班72号に新設 |
| 1948. 5. 1 | 「沖縄銀行 糸満支店」と改称 |
| 1948. 7. 1 | 琉球銀行へ吸収合併、「琉球銀行 糸満支店」となる |
| 1954.10. 8 | 糸満町字糸満3区19班53号へ新築移転 |
| 1971. 8.30 | 糸満市字糸満1005番地へ移転 |
| 1981. 3.23 | 糸満市字糸満1021番地へ新築移転 |
| 2017. 1.30 | 現在地へ移転 |

西崎支店

糸満市西崎6-5-6
098-992-5858



- | | |
|------------|----------|
| 1988. 7. 4 | 糸満市西崎に新設 |
|------------|----------|

南風原支店

島尻郡南風原町字兼城206
098-889-2821



- | | |
|------------|--------------------------|
| 1974. 1.16 | 南風原町字兼城203番地に新設 |
| 1990. 6.18 | 南風原町字兼城206番地9へ移転 |
| 2006. 7.18 | 南風原町兼城203番-3（旧南風原支店）へ仮移転 |
| 2007.11.26 | 現在地へ移転 |

与那原支店

島尻郡与那原町字与那原3080
098-945-2213



- 1946. 5. 1 「沖繩中央銀行 知念支店」として玉城村字親慶原区5班に新設
- 1948. 5. 1 「沖繩銀行 知念支店」へ改称
- 1948. 7. 1 琉球銀行に吸収合併、「琉球銀行 知念支店」となる
- 1949. 8.30 「知念支店 与那原預金取扱所」開設
- 1950.12.26 与那原町森下区1班に移転して「与那原支店」と改称、同時に与那原預金取扱所を吸収
- 1956. 4.16 新築移転（与那原町字与那原3080番地の1）
- 1985.12. 9 現在地へ新築移転

佐敷支店

南城市佐敷津波古929-2
098-947-3825



- 1983.12.12 佐敷町字津波古（現在地）に新設

東風平支店

島尻郡八重瀬町字伊覇227
098-998-6530



- 1984. 2. 6 東風平町字東風平424番地に新設
- 2009.12.14 現在地へ移転

浦添市

浦添支店

浦添市牧港1-11-30
098-879-1511



- 1957. 4.12 「普天間支店浦添預金取扱所」として浦添村字屋富祖292番地に新設
- 1964.10. 5 出張所昇格、浦添村字屋富祖396番地へ移転
- 1966. 5.16 支店昇格 名称を「浦添支店」へ
- 1977.11.14 浦添市屋富祖371番地へ移転
- 2018. 6.18 「牧港支店」内へ移転

牧港支店

浦添市牧港1-11-30
098-877-0114



- 1977. 8. 8 浦添市牧港1丁目に新設
- 2018. 3.26 現在地へ新築移転

内間支店

浦添市宮城5-2-1
098-879-2003



- 1980.11.17 浦添市宮城に新設

城間支店

浦添市城間2-5-2-101
098-878-3121



- 1971.11. 1 浦添市字屋富祖66番地に「屋富祖支店」として新設
- 1974. 3. 4 浦添市字城間2476番地に移転
- 1989. 7.17 現在地に移転及び「城間支店」へ改称

安波茶支店

浦添市安波茶2-18-1
098-878-1031



1982. 8.23 | 浦添市安波茶に新設

商業団地支店

浦添市西洲2-6-6
098-876-2355



1990.10.22 | 浦添市西洲に新設

宜野湾市

普天間支店

宜野湾市普天間1-9-1
098-892-1141



1956. 1.16 宜野湾市字普天間141番地の2に新設
1990. 8. 6 現在地へ移転

宜野湾支店

宜野湾市宜野湾1-5-3
098-893-2231



1979.12. 3 宜野湾市宜野湾に新設

真栄原支店

宜野湾市真栄原2-3-1
098-897-2872



1984.10.15 宜野湾市真栄原に新設

大謝名支店

宜野湾市大謝名215
098-897-5101



1970.10.12 「普天間支店 大謝名出張所」として宜野湾市大謝名に新設
1971.10. 1 支店昇格 名称を「大謝名支店」へ
1972. 5. 8 宜野湾市字大謝名50番地へ移転
2015. 2.23 現在地へ移転

沖縄市

コザ支店

沖縄市中央1-1-10
098-938-8811



- 1946. 5. 1 「沖縄中央銀行 胡差支店」として越来村鎌原2区に新設
- 1948. 5. 1 「沖縄銀行 胡差支店」と改称
- 1948. 7. 1 琉球銀行へ吸収合併、「琉球銀行 胡差支店」となる。
- 1951. 6. 14 越来村字胡屋37番地へ移転
- 1955. 3. 25 越来村センター区20班へ移転
- 1961. 4. 1 「コザ支店」へ改称
- 1984. 1. 17 店舗新築のため仮店舗へ移転
- 1985. 4. 30 現在地へ新築移転

コザ十字路支店

沖縄市東1-25-1
098-939-1144



- 1958. 2. 24 「胡差支店 胡差十字路預金取扱所」として胡差市字照屋39番地に新設
- 1961. 4. 1 「コザ支店コザ十字路預金取扱所」と改称
- 1962. 12. 17 美里村字宮里153番地へ移転
- 1964. 4. 出張所昇格
- 1965. 10. 1 支店昇格、「コザ十字路支店」と改称
- 1970. 11. 2 沖縄市宮里へ新築移転
- 1980. 9. 16 店舗増築
- 1999. 11. 22 現在地へ新築移転

諸見支店

沖縄市諸見里3-1-9
098-932-8181



- 1960. 7. 1 「胡差支店 諸見預金取扱所」として胡差市字諸見里464番地に新設
- 1961. 4. 1 「コザ支店諸見預金取扱所」と改称
- 1963. 9. 2 コザ市字諸見里155番地へ移転
- 1964. 4. 出張所昇格
- 1970. 2. 23 支店昇格、現在地へ移転し名称を「諸見支店」へ

泡瀬支店

沖縄市高原5-15-7
098-938-5560



- 1985. 3. 4 沖縄市高原に新設

中・北部

西原支店

中頭郡西原町字嘉手苅76-2
098-945-4006



1972. 4.17 西原村字嘉手苅117番地に新設
1976. 9.20 移転（西原町字小那覇265番地の3）
1986. 8.25 現在地へ移転

坂田支店

中頭郡西原町字翁長569
098-945-9445



1994. 7.11 西原町翁長に新設
2018. 1. 9 現在地へ移転

嘉手納支店

中頭郡嘉手納町字嘉手納463 新町1号館東棟101号
098-956-1122



1952. 6. 5 「胡差支店 嘉手納預金取扱所」として嘉手納村嘉手納区6の2に新設
1953. 4. 2 支店昇格、「嘉手納支店」へ改称
1954. 7.31 嘉手納町字嘉手納55番地へ新築移転
1985. 7.15 嘉手納町字嘉手納45-1へ新築移転
2006.12.11 店舗移転

北谷支店

中頭郡北谷町字桑江95-1
098-936-3141



1980. 3. 3 北谷町桑江に「諸見支店 北谷出張所」として新設
1980.10. 1 支店昇格し名称を「北谷支店」へ
2016.10.11 現在地へ新築移転

読谷支店

中頭郡読谷村字伊良皆267-1
098-956-1181



1981. 6.22 読谷村伊良皆に「嘉手納支店 読谷出張所」として新設
1986. 4.14 支店昇格し名称を「読谷支店」へ

北中城支店

中頭郡北中城村字喜舎場267-1
098-935-3501



1986. 9.22 北中城村喜舎場に新設

石川支店

うるま市石川2-23-6
098-965-1212



1946. 5. 1 「沖縄中央銀行 本店」として新設
1948. 5. 1 「沖縄銀行」と改称
1948. 7. 1 琉球銀行へ吸収合併、「琉球銀行 石川支店」となる
1951.10.22 石川市3区1班に移転
1960. 1. 9 店舗新築（石川市字石川238番地）
1996. 5.20 改築

具志川支店

うるま市安慶名1-9-19
098-973-4171



1946. 5. 1 「沖縄中央銀行 前原支店」として具志川村塩谷区21班に新設
1948. 5. 1 「沖縄銀行 前原支店」と改称
1948. 7. 1 琉球銀行へ吸収合併、「琉球銀行 前原支店」となる
1950.10. 9 具志川村字平良川へ移転
1956. 1. 4 具志川市字安慶名へ新築移転
1975. 4. 1 「具志川支店」へ改称
1990. 6.11 具志川市字安慶名279番地へ新築移転
2017. 2.20 現在地へ新築移転

赤道支店

うるま市字赤道2-15
098-973-4944



- | | |
|------------|-----------------|
| 1973. 1.16 | 具志川市字赤道182番地に新設 |
| 1982. 5.17 | 現在地へ移転 |

屋慶名支店

うるま市与那城屋慶名1131-3
098-978-3333



- | | |
|-------------|-------------------------------------|
| 1959. 12.11 | 「前原支店 屋慶名預金取扱所」として与那城村字屋慶名1655番地に新設 |
| 1964. 4. | 出張所へ昇格 |
| 1972. 5.10 | 支店昇格、名称を「屋慶名支店」へ |
| 1975. 2.17 | 現在地へ移転 |

本部支店

国頭郡本部町字渡久地4
0980-47-2600



- | | |
|------------|------------------------------|
| 1946. 5. 1 | 「沖縄中央銀行 本部支店」として本部町渡久地区5班に新設 |
| 1948. 5. 1 | 「沖縄銀行 本部支店」と改称 |
| 1948. 7. 1 | 琉球銀行へ吸収合併、「琉球銀行 本部支店」となる |
| 1960. 1.16 | 店舗新築 |
| 1994. 6. | 店舗新築のため仮店舗へ移転 |
| 1995. 7.17 | 現在地へ新築移転 |

金武支店

国頭郡金武町字金武518
098-968-2125



- | | |
|------------|---------------------|
| 1961.11.10 | 「石川支店 金武預金取扱所」として新設 |
| 1964. 4. | 出張所へ昇格 |
| 1971.12.13 | 支店昇格し名称を「金武支店」へ |
| 1976. 3.29 | 現在地へ移転 |

名護支店

名護市大中1-11-1
0980-52-2816



- 1946. 5. 1 「沖縄中央銀行 名護支店」として名護町大東区4班に新設
- 1948. 5. 1 「沖縄銀行 名護支店」と改称
- 1948. 7. 1 琉球銀行へ吸収合併、「琉球銀行 名護支店」となる
- 1957. 11. 2 名護市名護へ新築移転
- 1989. 4.10 現在地へ新築移転

大宮支店

名護市大南2-7-5
0980-52-0031



- 1976.11.22 名護市字名護1232番地の2（現在地）に新設

今帰仁支店

国頭郡今帰仁村字仲宗根264
0980-56-2301



- 1951. 5. 1 「本部支店 今帰仁預金取扱所」として今帰仁村仲宗根区に新設
- 1954. 3.25 廃止
- 1960.12.17 「本部支店今帰仁預金取扱所」として今帰仁村字仲宗根279番地に移転再開
- 1964. 4. 出張所昇格
- 1972. 5.10 支店昇格し名称を「今帰仁支店」へ
- 1973. 3. 5 今帰仁村字仲宗根265番地の1へ移転
- 1988. 4.18 現在地へ新築移転
- 2002. 9. 9 名称を今帰仁支店から「今帰仁出張所」へ
- 2017.11.15 支店昇格し名称を「今帰仁支店」へ

県外・離島

久米島支店

島尻郡久米島町字仲泊1048
098-985-2012



- | | |
|------------|-------------------|
| 1951. 4. 1 | 久米島仲里村字儀間119番地に新設 |
| 1951. 9.30 | 具志川村字嘉手苜82番地へ移転 |
| 1953.11.20 | 具志川村字大田1130番地へ移転 |
| 1958.11.14 | 現在地へ新築移転 |

宮古支店

宮古島市平良字西里240-2
0980-72-2251



- | | |
|------------|---------------------------|
| 1946 | 「宮古銀行」として平良市字西里尻並344番地に創業 |
| 1948. 5. 1 | 琉球銀行へ吸収合併、「琉球銀行 宮古支店」となる |
| 1949.11. 7 | 平良市字西里334番地へ新築移転 |
| 1959. 1.14 | 平良市字西里258番地へ新築移転 |
| 1987. 5.11 | 現在地へ新築移転 |

八重山支店

石垣市字登野城2-7
0980-82-6121



- | | |
|------------|-----------------------------|
| 1946. 1. 4 | 「八重山銀行」として鹿児島興業銀行八重山代理店跡に創業 |
| 1948. 5. 1 | 琉球銀行へ吸収合併、「琉球銀行 八重山支店」となる |
| 1959. 1.10 | 石垣市字登野城1番地へ新築 |
| 1996. 4.22 | 現在地へ新築移転 |

東京支店

東京都千代田区神田多町2-2-16神田21ビル 4階
03-5296-8611



- | | |
|------------|-------------------------|
| 1972. 7.24 | 東京都中央区京橋1丁目に新設 |
| 1997. 6.23 | 東京都中央区京橋から東京都千代田区丸の内へ移転 |
| 2000. 8.28 | 現在地の東京都千代田区神田へ移転 |

ローンセンター

那覇ローンセンター出張所 りゅうぎん那覇ローンセンター+(プラス)

那覇市久茂地1-9-17
0120-41-1924



1999.10.5 | 現在地に「那覇住宅ローンセンター」として開設
2009.8.3 | 「那覇ローンセンター」へ改称
2015.5.25 | 「那覇ローンセンター+(プラス)」へ改称

真嘉比ローンセンター出張所 りゅうぎん真嘉比ローンセンター+(プラス)

那覇市松島1-4-8
0120-41-0103



2013.3.4 | 「真嘉比ローンセンター+(プラス)」として開設

牧港ローンセンター出張所 りゅうぎん牧港ローンセンター+(プラス)

浦添市牧港1-11-30
0120-19-6154



2001.8.1 | 「牧港住宅ローンセンター」として開設
2009.8.3 | 「牧港ローンセンター」へ改称
2014.6.30 | 「牧港ローンセンター+(プラス)」へ改称
2018.3.26 | 現在地へ移転

南部ローンセンター出張所 りゅうぎん南部ローンセンター+(プラス)

南風原町字兼城203-3
0120-09-7839



2012.12.17 | 「南部ローンセンター+(プラス)」として開設

**中部ローンセンター出張所
りゅうぎん中部ローンセンター+(プラス)**

沖縄市東1-25-1 (りゅうぎんコザ十字路支店内)
0120-41-1983



1999.11.22 現在地に「中部住宅ローンセンター」として開設
2009. 8. 3 「中部ローンセンター」へ改称
2014.10.27 「中部ローンセンター+(プラス)」へ改称

**北部ローンセンター出張所
りゅうぎん北部ローンセンター+(プラス)**

名護市大中1-11-1 (りゅうぎん名護支店3階)
0120-41-1016



2005.10.14 名護支店内に「ローンプラザ北部店」として開設
2009. 8. 3 「北部ローンセンター」へ改称
2014.10.14 「北部ローンセンター+(プラス)」へ改称

**北谷ローンセンター出張所
りゅうぎん北谷ローンセンター+(プラス)**

中頭郡北谷町字桑江95-1
0120-41-0780



2013. 8. 6 「北谷ローンセンター」として開設
2015. 6.15 「北谷ローンセンター+(プラス)」へ改称
2016.10.11 現在地へ新築移転

りゅうぎん東京住宅ローンセンター

東京都千代田区神田多町2-2-16神田21ビル 4階 (東京支店内)
0120-41-1913



2006. 7. 5 東京支店内に「東京住宅ローンセンター」として開設

13 年表

※ - は月日不明を表しています

| 年号 | 当 行 | 社会の動き【 県内・国内・海外 】 |
|---|--|--|
| 1984 昭和59年 | 1. 17 コザ支店が仮店舗へ移転 23 若狭出張所を新設(母店那覇支店) | 1. 4 譲渡性預金(NCD)の最低預入額5億円から3億円に引下げ |
| | 2. 6 東風平支店を新設 13 松尾支店が仮店舗へ移転 | 2. 6 中城湾港埋立工事起工式 8 サラエボ冬季五輪開催 23 第1回日米円・ドル委員会 |
| | 3. 11 「リゅうぎん友の会」第1回遠遊会 31 『戦後沖縄経済史』刊行 | 3. 18 グリコ・森永脅迫事件 |
| | 4. 1 新研修体系スタート 1 別段預金オンライン処理開始 9 中央卸売市場支店を新設 20 リゅうぎんベンチャーキャピタル(株)設立 25 リゅうぎんダイヤモンドクレジット(株)設立 | 4. 1 西日本相互銀行が普通銀行へ転換 1 大蔵省が為替先物取引の実需原則を撤廃 2 銀行と証券会社が海外CD・CPの国内販売業務開始 17 沖縄県中央卸売市場開設 27 第一勧業銀行那覇支店開設 |
| | 5. 25 第58回定例営業店長会議 | 5. 16 通商産業省が「琉球紅型」を伝統的工芸品に指定 30 大蔵省が「日米円・ドル委員会報告書」公表 |
| | 6. 18 泊支店が移転 29 第68期定時株主総会 30 「リゅうぎん友の会」定期総会 | 6. 1 大手金融機関が公共債のディーリング業務を開始 1 大蔵省が外貨預金円転規制を撤廃 |
| | 7. 16 知花支店を新設 - 総合口座一括記帳処理の取扱い開始 | 7. 28 ロサンゼルス夏季五輪開催 |
| | 8. 7 浦添市城間に書庫センター設置 - 外貨預金・外貨貸付オフラインシステム処理開始 | 8. 13 信組・労金・農協が全銀データ通信システムに加盟 |
| | 10. 9 本店営業部と本部支店にポータブル端末機導入 14 第3回琉球銀行・関連会社合同運動会 15 真栄原支店を新設 15 「リゅうぎん通帳式定期預金」発売 15 「リゅうぎんテレホン・ファクシミリサービス」開始 | 10. 9 琉球大学医学部棟竣工ならびに附属病院開院記念式 19 大蔵省が在日外国銀行の公共債ディーリング業務を認可 29 宮古群島のミカンコンビエ根絶宣言 |
| | 11. 1 (株)テンポラリーセンターオキナワ(現(株)人材派遣センターオキナワ)設立 6 リゅうぎんダイヤモンドクレジット(株)と「タイムリーサービス」で提携 9 第59回定例営業店長会議 13 「リゅうぎん友の会」支部発足第1号(南部地区東支部) | 11. 1 千円札・5千円札・1万円札の新紙幣発行 12 地銀データ伝送システム(CNS)発足 |
| 12. 1 「リゅうぎんパートナーローン」発売 23 『戦後沖縄経済史』が第5回沖縄タイムス出版文化賞の特別賞を受賞 - CNS(地銀データ伝送システム)始動 | 12. 17 第25代日本銀行総裁に澄田智氏就任 | |
| 1985 昭和60年 | 1. 14 信用情報システムのオンライン処理開始 21 通帳式定期預金のATM取扱い開始 | 1. 10 日本航空の沖縄—札幌便が就航 |
| | 2. 16 「リゅうぎん友の会」支部発足第2号(北部支部) | 2. 13 瀬底大橋開通 |
| | 3. 4 泡瀬支店を新設 10 国際部東京分室設置 18 松尾支店が移転 25 元帳ファイルの二重化システム稼働 31 『琉球銀行三十五年史』刊行 | 3. 16 「つくば科学万博」開催 23 「壺屋焼」の金城次郎氏が県内初の人間国宝に |
| | 4. 1 CD・ATMでリゅうぎんDCカードによるキャッシングサービス開始 1 QCプラスワンサークル活動開始 1 本部情報オンライン・ネットワークシステム本格稼働 1 市場金利連動型預金「MMC」発売 2 営業店長会議 30 コザ支店が新築移転 | 4. 1 市場金利連動型預金「MMC」取扱い開始(最低預入額5千万円以上) 1 日本電々公社が日本電信電話(株)に民営化 1 日本専売公社が日本たばこ産業(株)に民営化 1 譲渡性預金(NCD)の最低預入額3億円から1億円に引下げ、期間3カ月から1カ月に短縮 17 沖縄国際センター開所 28 第1回全日本トライアスロン宮古島大会開催 |
| | 5. 1 資金証券部と国際部によるM・M(マーネー・マーケット)チーム発足 17 第60回定例営業店長会議 29 国際部が「アニュアル・レポート1985」発刊 | 5. 17 男女雇用機会均等法成立(1986年4月施行) |

| 年号 | 当 行 | 社会の動き【 県内・国内・海外 】 |
|---------------|---|---|
| 1985 昭和60年 | 6. 1 残存期間2年未満の発行済み公共債ディーリング開始 20 中部現金センター開設 28 第69期定時株主総会 28 崎間晃が代表取締役頭取に就任 28 田場典正が代表取締役会長に就任 29 「リゅうぎん友の会」定期総会 | 6. 1 銀行等が公共債フルディーリング開始 1 円建BA (銀行引受手形) 市場発足 |
| | 7. 15 嘉手納支店が新築移転 15 頭取交代キャンペーン「フレッシュパワーフレッシュリゅうぎん“一店一品運動”」 | 7. 1 銀行の外貨建公共債ディーリング解禁 |
| | 8. 12 「リゅうぎん臈月会」発足 | 8. 5 那覇防衛施設局が軍用地20年強制使用を申請 12 日航ジャンボ機墜落事故、520死亡、4人生存 13 三光汽船(株)が会社更生法の適用申請 (戦後最大の負債額) |
| | 9. 2 当行株式が東京証券取引所第一部へ指定替え | 9. 22 プラザ合意 (G5がドル高是正合意) |
| | 10. 1 「リゅうぎん職域ローン」発売 1 自由金利定期預金「大口定期預金」発売 1 新原価計算システム「RCAS (ルーカス)」構築・運用 5 「リゅうぎん友の会」中部支部発足 21 「リゅうぎんペイバイホンサービス」開始 26 「リゅうぎんパソコンサービス」開始 | 10. 1 自由金利定期預金「大口定期預金」(最低預入額10億円・期間3カ月以上2年以内) の取扱い開始 19 東京証券取引所で債券先物市場スタート |
| | 11. 1 女性職員の冬制服刷新 1 「ガン保険付定期預金」発売 16 第61回定例営業店長会議 | 11. 25 円急騰、一時1ドル200円を割る |
| | 12. 9 与那原支店が新築移転 21 本支店振込システム稼働 | 12. 8 第1回NAHAMARASON開催、参加者4,810人 28 郵貯残高が100兆円突破 |
| | 1. 16 平日の窓口営業時間を午後4時までから午後3時までに変更 18 第1回QCプラスワンサークル活動全行大会 27 外貨預金・外貨貸付オンライン稼働 27 「スイスフラン投資口座」発売 | 1. 1 マル優制度改正 (本人確認・限度額確認の強化) 24 円相場、終値1ドル199円50銭と200円台を割る 30 日銀が公定歩合引下げ (5%→4.5%) |
| | 2. 3 テラーの一線完結処理システム順次導入 3 「リゅうぎん金投資口座」発売 10 「新型ビッグローン」発売 | 2. 4 八重山群島のミカンコミバエ根絶 8 海洋博公園熱帯ドリームセンター開園 12 通商産業省「琉球漆器」を伝統工芸品に指定 |
| | 3. 3 八十二銀行と新総合オンラインシステム共同開発で調印 31 総資金量8,000億円達成 | 3. 10 日銀が公定歩合引下げ (4.5%→4.0%) 22 東証平均株価、1万5千円台に乗せ史上最高値を更新 |
| 1986 昭和61年 | 4. 1 女性職員の夏制服刷新 14 読谷出張所が支店に昇格 25 浦添ショッピングセンター内に店外CDを沖縄銀行と共同設置 28 テレ明カットシステム稼働 | 4. 1 大口定期預金の最低預入額10億円以上から5億円以上に引下げ 1 沖縄県立芸術大学開学 7 経済構造調整研究会が「国際協調のための経済構造調整研究会報告書」(前川レポート) を首相に提出 11 那覇港臨港道路泊大橋開通 21 日銀が公定歩合引下げ (4.0%→3.5%) 26 全日空の沖縄-広島便が就航 26 ソ連チェルノブイリ原発事故 |
| | 5. 7 リゅうぎんベンチャーキャピタル(株)が「ベンチャーリンク・オキナフ」を結成 23 第62回定例営業店長会議 | 5. 4 第12回先進国首脳会議「東京サミット」開催 16 大蔵省が金融機関の新経営基準を発表 |
| | 6. 2 発行済み公共債フルディーリング開始 10 資金証券部東京分室設置 27 第70期定時株主総会 — 『企業文化コンセプトマニュアル』制定 | 6. 10 琉球金融協会を沖縄金融協会に改称 11 大蔵省が国債窓販を農協・漁協にも認可発表 |
| | 7. 1 「リゅうぎんレディスプランときめき」発売 5 「リゅうぎん友の会」定期総会 — 債券先物市場において特別参加者として東京証券取引所と直接取引開始 | 7. 1 預金保険金支払限度額300万円から1,000万円に引上げ 1 新国際線ターミナル竣工 28 県内金融機関CD・ATMの稼働時間を19時まで延長 |
| | 8. 18 豊見城支店が移転 23 ディスクロージャー誌「1986年リゅうぎんのご案内」発刊 25 西原支店が移転 | 8. 20 円急騰、戦後最高値 (152円60銭) を記録 22 沖縄県の新庁舎起工式 |
| | 9. 19 田原支店が店舗増改築 22 北中城支店を新設 | 9. 1 大口定期預金の最低預入額3億円以上に引下げ 1 MMCの最低預入額3千万円以上に引下げ |

| 年号 | 当 行 | 社会の動き【 県内・国内・海外 】 |
|---------------|---|--|
| 1986 昭和61年 | 10. 6 『企業文化コンセプトマニュアル』定着へ向けた活動展開 26 第4回琉球銀行・関連会社合同運動会 29 『琉球銀行三十五年史』が日本経営史研究所主催第5回優秀会社史賞を受賞 | 10. 1 住友銀行が平和相互銀行を吸収合併 |
| | 11. 1 「リゅうぎん変動金利型住宅ローン」発売 18 新八重山寮竣工 21 第63回定例営業店長会議 | 11. 1 南西航空（現日本トランスオーシャン航空）が初の本土便開設、那覇ー松山 1 日銀が公定歩合引下げ（3.5%→3.0%） 10 天皇陛下在位60周年記念硬貨発行 |
| 1987 昭和62年 | 12. 1 東京オフショア市場への参加指定取得 | —平成景気が始まる— 12. 1 東京オフショア市場発足 7 第2回NAHAMARASON開催 |
| | 1.23 浦添事務センタービル竣工式 | 1.30 東証平均株価、2万円台に乗せ史上最高値更新 |
| | 2. 4 「外国為替取扱店舗の設置に関する包括許可」取得 18 QCサークル沖縄支部の支部長会社に選ばれる 20 「リゅうぎん友の会」南部西支部発足 | 2. 9 NTT株上場（初値160万円） 23 日銀が公定歩合引下げ（3.0%→2.5%） |
| | 3. 7 第2回QCプラスワンサークル活動全行大会 | |
| | 4.30 宮古支店かりゆし寮竣工 | 4. 1 国鉄が分割・民営化、JRグループ7社業務スタート 3 普通銀行・相互銀行の国内転換社債発行の解禁 6 大口定期の最低預入額1億円に引き下げ 6 MMCの最低預入額2千万円に引き下げ |
| | 5. 1 営業店「地域密着コンクール」開始 11 宮古支店が新築移転 18 医療保険付定期預金「まもる」発売 22 第64回定例営業店長会議 | 5. 2 沖縄県総合運動公園開園 22 海外金融先物市場の解禁 29 経済対策閣僚会議で緊急経済対策決定（6兆円超の内需拡大策） 31 米軍牧港住宅地区（現おもろまち）全面返還 |
| | 6. 1 CD・ATMを県内金融機関で相互利用する「沖縄地域キャッシュサービス」開始 24 「リゅうぎん住宅リフォームローン」発売 26 第71期定時株主総会 | 6. 1 県内主要金融機関CD・ATM相互利用開始 4 大蔵省「金融・資本の自由化、国際化に関する当面の展望」で預金金利自由化の促進、短期金融市場の拡充、金融機関の業務自由化等を発表 9 大阪証券取引所が株式先物取引「株先50」開始（国内初の株式先物市場） 9 総合保養地域整備法（リゾート法）公布 25 大蔵省が銀行等の株式信用取引許可 |
| | 7. 2 第1回「リゅうぎんトップセミナー」開催 3 「リゅうぎん友の会」定期総会 | 7.21 全銀協がディスクロージャー制度の統一開示基準制定 21 全銀協など金融5団体が投機的な土地取引への貸出自粛を申し合わせ |
| | 8. 3 「リゅうぎん金融情報サービス」開始 6 債券オンラインシステム稼働 | |
| | 10.29 沖縄海邦国体で成年女子9人制バレーボール優勝、成年女子6人制バレーボール3位、成年男子卓球3位の活躍 | 9. 3 沖縄コンベンションセンター落成 20 海邦国体夏季大会開催 |
| 1988 昭和63年 | 11. 2 「リゅうぎんスピードローン」発売 20 国内コマmercial・ペーパー（CP）取扱い開始 27 第65回定例営業店長会議 | 10. 1 沖縄銀行が東証第二部および福岡証券取引所に上場 5 大口定期預金の預入期間1カ月以上2年未満に短縮 5 MMCの最低預入額1千万円以上に引下げ 8 沖縄自動車道が開通（那覇ー許田全線開通） 19 ニューヨーク株式市場大暴落（ブラックマンデー） 20 東京株式市場が3,836円48銭下げの大幅下げ記録 25 海邦国体秋季大会開催 |
| | 2. 1 資本金64億円に増資 1 「リゅうぎん教育ローン」発売 6 第3回QCプラスワンサークル活動全行大会 | 11. 6 竹下登内閣発足 16 第3次全銀データ通信システム稼働 20 大蔵省が国内CP発行解禁 30 宮古群島のウリミバエ根絶 12. 6 第3回NAHAMARASON 10 大蔵省が銀行の自己資本比率の国際統一基準（BIS基準）を公表（1992年度末までに8%） 1. 4 1ドル120円45銭、戦後最高値を更新 2. 1 那覇新都心地区の都市計画決定 13 カルガリー冬季五輪開催 |

| 年号 | 当 行 | 社会の動き【 県内・国内・海外 】 |
|--|---|---|
| 1988 昭和63年 | 3. 1 「リゅうぎん財形給振フリーローン」発売 | 3. 11 南西航空の那覇-岡山線が運航 25 沖縄県が沖縄トロピカルリゾート基本構想を公表 |
| | 4. 1 中期経営計画「CORAL (コーラル) プラン」スタート (88年度~90年度) 1 オートコールシステム稼働 8 リゅうぎん金融資料館開設 12 財団法人リゅうぎん国際化振興財団設立 18 今帰仁支店が新築移転 30 総資金量1兆円達成 30 ポケットコンピューターを全店に導入 | 4. 1 非課税貯蓄制度 (マル優) が原則廃止 4 大口定期預金の最低預入額5千万円に引下げ 4 譲渡性預金 (NCD) の最低預入額5千万円に引下げ |
| | 5. 1 琉球銀行行歌「ニライの富を」制定 1 リゅうぎん音頭「きょうも笑顔で」制定 19 第66回定例営業店長会議 20 創立40周年事業「物故者役職員合同慰霊祭」法要 20 資本金68億円に増資 27 創立40周年事業「NHK交響楽団演奏会」主催 | 5. 25 金融先物取引法成立 25 インサイダー取引規制強化 |
| | 6. 8 ニューヨーク駐在員事務所開設 29 第72期定時株主総会 | 6. 20 牛肉・オレンジ輸入自由化協議で日米合意 |
| | 7. 2 「リゅうぎん友の会」定期総会 4 西崎支店を新設 4 土地信託の契約第1号成立 25 営業店OAシステム (パソコン活用) 導入 | 7. 1 沖縄自由貿易地域那覇地区供用開始 1 証券会社のインサイダー取引管理規則実施 11 パーゼル銀行監督委員会「銀行の自己資本比率の国際統一基準」を決定 |
| | 8. 2 「年金保険ローン」発売 30 「リゅうぎん事業者カードローン」発売 | 8. 15 日銀ネット稼働 23 全銀協「インサイダー取引自主規制ルール」を設定 |
| | 10. 1 FA (ファイナンシャル・アドバイザー) 制度運用開始 | 9. 3 東京・大阪証券取引所が株価指数先物取引開始 (東証はトビックス、大証はニッケイ225) 17 ソウル夏季五輪開催 |
| | 11. 18 第67回定例営業店長会議 21 ロビーウーマン (現フロアアシスタント) の冬制服刷新 | 10. 1 沖縄電力民営化 17 全国銀行個人信用情報センター発足 17 日銀金融ネットワークシステム始動 |
| | 1. 27 パーゼル規制における国際統一基準の採用決定 | 11. 1 日銀が短期金融市場改革 7 大口定期預金の最低預入額3千万円に引下げ |
| | 2. 4 完全週休2日制開始 18 第4回QCプラスワンサークル活動全行大会 20 新短期プライムレート導入 22 「リゅうぎんアパートローン」発売 | 12. 4 第4回NAHAMARASON 24 税制改革関連6法公布 |
| 3. 3 (財) リゅうぎん国際化振興財団の第1回助成金交付式 | 1. 7 昭和天皇崩御87歳 | |
| 4. 1 個人表彰制度を制定・運用開始 1 リゅうぎんダイヤモンドクレジット (株) が (株) リゅうぎんディーシーに改称 1 資本金93億円に増資 3 外為替取扱店のA店舗・B店舗の区分廃止 10 名護支店が新築移転 | 1. 8 新元号「平成」施行 20 第41代米国大統領にジョージ・ブッシュ氏就任 — 大手行が新短期プライムレートを相次いで導入 | |
| 5. 15 未吉出張所が支店昇格、移転と同時に古島支店へ改称 26 第68回定例営業店長会議 26 個人表彰制度の第1回表彰式 — 債券店頭オプション取引開始 — (財) リゅうぎん国際化振興財団が『沖縄経済要覧』刊行 | 2. 1 相互銀行52行が普通銀行に転換 1 相互銀行協会が第二地方銀行協会に改称 1 沖縄相互銀行が普通銀行に転換「沖縄海邦銀行」に改称 4 金融機関の完全週休2日制開始 | |
| 6. 5 小口市場金利連動型預金「スーパーMMC」発売 22 「リゅうぎん資産活用ローン」発売 29 第73期定時株主総会 30 金融先物取引開始 | 4. 1 一律3%課税の消費税導入 3 大口定期預金の最低預入額2千万円に引下げ 18 沖縄県産業振興公社設立 | |
| 1989 昭和64年 | | 5. 31 日銀が公定歩合引上げ (2.5%→3.25%) |
| | | 6. 3 宇野宗佑内閣発足 4 中国天安門事件 5 小口市場金利連動型預金「スーパーMMC」取扱開始 (最低預入額300万円、期間6カ月・1年) |
| 1989 平成元年 | | |

| 年号 | 当 行 | 社会の動き【 県内・国内・海外 】 |
|--------------|--|---|
| 1989 平成元年 | 7. 7 「リゅうぎん友の会」定期総会 17 屋富祖支店が移転し城間支店へ改称 | 6. 12 大阪証券取引所が国内初の株価指数オプション取引開始 19 大蔵省が歩積・両建て預金の自粛に関する通達を廃止 30 東京金融先物取引所が取引開始 |
| | 8. 19 (株)琉球住宅ローンサービスが(株)シティに改称 21 資本金98億円に増資 | 7. 14 大蔵省が金融機関の100%出資子会社の業務規制を緩和 22 南西航空の宮古―東京直行便が就航 |
| | 9. 8 当行株県内初の貸借銘柄に指定 20 「リゅうぎん友の会」宮古支部発足 | 8. 10 海部俊樹内閣発足 29 三井銀行と太陽神戸銀行が90年4月1日合併で合意 |
| | 11. 1 「金利予約型大口定期預金」「金利予約型ローン」発売 3 第5回琉球銀行・関連会社合同運動会 17 第69回定例営業店長会議 20 「為替相場連動型大口定期預金」発売 | 9. 1 沖縄銀行が東証一部上場 |
| | 12. 1 「金利先物価格連動型大口定期預金」発売 | 10. 2 大口定期預金の最低預入額1千万円に引下げ 11 日銀が公定歩合引上げ(3.25%→3.75%) 13 ニューヨーク株式市場大暴落、ブラックマンデーに次ぐ史上2番目の下げ幅 27 大蔵省が土地関連融資に関する要請等を通達(投機的な土地取引にかかる融資排除の徹底、ノンバンク貸金業者向け融資の抑制を要請) |
| | 2. 5 「全国キャッシュサービス(MICS)」取扱い開始 13 県庁内出張所が支店昇格 | 11. 9 ヘルリンの壁崩壊 26 第1回「ツール・ド・おきなわ」開催 |
| | 5. 1 新総合オンラインシステム稼働 25 第70回定例営業店長会議 25 第2回個人表彰授与式 | 12. 3 第5回NAHAマラソン開催 17 第26代日本銀行総裁に三重野康氏就任 25 日銀が公定歩合引上げ(3.75%→4.25%) 29 東証平均株価が38,915円87銭と最高値を記録 |
| | 6. 1 新総合オンラインシステム稼働に伴い①スイングサービス開始②CD・ATM通帳記憶機能拡大③一括証書口の取扱い開始 4 石嶺支店が移転 11 具志川支店が新築移転 18 南風原支店が移転 28 第74期定時株主総会 | 1. 11 大蔵省が金融機関発行の転換社債の資金用途制限を撤廃 26 沖縄県庁舎行政棟落成式 |
| | 7. 2 (株)リュウ・アイ・システム業務開始 5 「リゅうぎんスーパーローン」発売 6 「リゅうぎん友の会」定期総会 16 沖映通り支店が移転 | 2. 1 県内初の美術館「浦添市美術館」開館 5 都銀・地銀CDオンライン提携「MICS(全国キャッシュサービス)」稼働 |
| | 8. 6 普天間支店が移転 | 3. 15 ソ連大統領にゴルバチョフ氏就任 20 日銀が公定歩合引上げ(4.25%→5.25%) 20 全銀協が広告規制緩和を決定(ラジオCM全面解禁、テレビCM条件付解禁) 27 大蔵省が不動産関連融資の総量規制を示達(4月実施) |
| | 10. 12 オリジナルキャラクター「リゅうちゃん・ぎんちゃん」導入発表会 22 商業団地支店を新設 | 4. 1 三井銀行と太陽神戸銀行が合併し「太陽神戸三井銀行」誕生 2 スーパーMMCの最低預入額100万円に引下げ |

1990
平成2年

| 年号 | 当 行 | 社会の動き【 県内・国内・海外 】 |
|--------------|---|---|
| 1990 平成2年 | 11.22 第71回定例営業店長会議 | 11. 5 自由金利定期預金「スーパー定期」取扱い開始(最低預入額300万円) 12 天皇陛下「即位の礼」 18 県知事選挙で大田昌秀氏当選 |
| | 1.13 CDの日曜日稼働「サンデーバンキングサービス」開始 2.12 「カードローンA(エース)」発売 | 12. 9 第6回NAHAMARASON開催 1.17 湾岸戦争勃発 2. 4 第二地銀・信金・信組・労金など5業態がCD・ATMオンライン提携 —平成景気が終わる— 3.11 県第3次沖縄振興開発計画大綱決定 |
| 1991 平成3年 | 4. 1 中期経営計画「ニューCORALプラン」スタート(91年度～93年度) 15 機保支店を新設 | 4. 1 協和銀行と埼玉銀行が合併「協和埼玉銀行」誕生 1 山陰合同銀行とふそう銀行が合併「山陰合同銀行」誕生 1 スーパーMMCの最低預入額50万円に引下げ —大手行が新長期プライムレートを相次いで導入 |
| | 5.20 「テレホンバンクリゅうちゃんサービス」開始 24 第72回定例営業店長会議 24 第3回個人表彰授与式 29 新長期プライムレート導入 | 6. 1 沖縄セルラー電話(株)設立 21 証券会社の大口投資家に対する損失補填が発覚 27 日銀が窓口指導の廃止を決定 |
| | 6.27 第75期定時株主総会 27 個人融資部を新設 | 7. 1 日銀が公定歩合引下げ(6.0%→5.5%) 1 東京金融先物市場で金融先物オプション取引開始 9 大蔵省が「今後の自由化のスケジュール」公表 10 ロシア共和国の初代大統領にエリツィン氏就任 |
| | 7. 5 「リゅうぎん友の会」定期総会 | 8.20 副知事に尚弘子氏就任、全国で2番目の女性副知事の誕生 |
| | 8.20 (財)リゅうぎん国際化振興財団が『日本語会話本』刊行 | 9.22 MICS(全国キャッシュサービス)の日曜稼働開始 |
| | 9.24 書庫センターが中城村へ移転 | 10. 5 マネーローダリング関連2法律公布 |
| | 11. 1 総合企画部内に関連事業室を新設 3 第6回琉球銀行・関連会社合同運動会 5 自由金利定期預金「スーパー定期」発売 22 第73回定例営業店長会議 | 11. 5 宮沢喜一内閣発足 5 沖縄開発庁長官に初の県出身大臣として伊江朝雄氏就任 14 日銀が公定歩合引下げ(5.5%→5.0%) 28 政府がリゾート法に基づく「沖縄トロピカルリゾート構想」を承認 |
| | 12. 9 スーパーATM(振込機能付)導入 | 12. 1 第7回NAHAMARASON開催 30 日銀が公定歩合引下げ(5.0%→4.5%) 31 ソビエト連邦消滅(ゴルバチョフ大統領辞任) |
| | | 1. 1 新土地税制(地価税等)施行 1 大蔵省が不動産融資総量規制を解除 |
| | | 2. 8 アルベールビル冬季五輪開催 10 沖縄電力が東証第二部および福岡証券取引所に上場 14 池間大橋開通 25 経済企画庁が景気後退を発表 |
| 1992 平成4年 | 3.31 習志野寮の改築竣工 | 3.16 東証平均株価が5年1カ月ぶりに2万円の大台割れ 27 国+庁が1992年の地価公示発表、17年ぶりの下落 |
| | 4. 1 育児休業制度導入 4 中央卸売市場支店を閉鎖 | 4. 1 日銀が公定歩合引下げ(4.5%→3.75%) 1 太陽神戸三井銀行「さくら銀行」に改称 |
| | 5. — (財)リゅうぎん国際化振興財団が「リゅうぎん紅型デザイン公募展」起ち上げ | 5.13 沖縄復帰20周年記念硬貨発行 15 復帰20周年記念式典が沖縄と東京で開催 |
| | 6. 5 第74回定例営業店長会議 5 第4回個人表彰授与式 22 「リゅうぎん貯蓄預金」発売 26 第76期定時株主総会 | 6.19 金融制度改革関連法案成立 22 貯蓄預金取扱い開始 22 スーパーMMCの最低預入限度額撤廃 |
| | 7. 1 学生向け企業案内誌「ENERGY」発行 6 「リゅうぎん友の会」定期総会 28 時短推進委員会「パワーアップ・セブン」発足 | 7. 1 沖縄県情報公開制度開始 20 証券取引等監視委員会発足 25 パルセロナ夏季五輪開催 27 日銀が公定歩合引下げ(3.75%→3.25%) 30 沖縄県庁舎議会棟落成式 |
| | | |

| 年号 | 当 行 | 社会の動き【 県内・国内・海外 】 |
|--------------|---|--|
| 1992 平成4年 | 9. — ニューヨーク駐在員事務所が移転 | 8. 18 大蔵省が金融システム安定のため「金融行政の当面の運営方針」発表 28 政府が10兆7千億円の総合経済対策決定 |
| | 10. 22 第1回「リゅうぎん紅型デザイン公募展」表彰式 | 9. 4 中国式庭園「福州園」開園 21 協和埼玉銀行が「あさひ銀行」に改称 28 政府が第3次沖縄振興開発計画を決定 |
| | 11. 26 第75回定例営業店長会議 | 11. 3 首里城正殿など主要施設が首里城公園として一部開園 |
| | 12. 6 NAHAマラソンに協賛(以後継続) | 12. 6 第8回NAHAマラソン開催 16 宮古・八重山地区で民放TV開始 |
| 1993 平成5年 | 1. 6 融資第二部を新設 11 定期預金「琉球の風」発売 | 1. 10 NHK大河ドラマ「琉球の風」放送(1/10~6/13) 20 第42代米大統領にビル・クリントン氏就任 27 (株)共同債権買取機構設立 |
| | 3. — 「バーゼル規制」(BIS規制)適用(93年3月期) | 2. 3 沖縄県物産公社設立 4 日銀が公定歩合引下げ(3.25%→2.5%) |
| | 4. 1 「パソコンバンクぎんちゃんサービス」開始 5 新国債窓販システム稼働 | 3. 7 第1回おきなわマラソン開催 22 全銀システムが翌営業日決済から同日決済へ — 「バーゼル規制」(BIS規制)適用開始(93年3月期) |
| | 5. 1 リゅうぎんユイマール助成会創設 1 創立45周年記念事業『琉球のバイオニア』を沖縄タイムス社と提携して刊行 28 第76回定例営業店長会議 28 第5回個人表彰授与式 | 4. 1 金融制度改革関連法施行 1 羽後銀行と秋田あけぼの銀行が合併し北都銀行発足 13 政府が過去最大となる13兆2千億円の総合経済対策を決定 25 糸満市で全国植樹祭開催、天皇・皇后両殿下が初来沖 |
| | 6. 29 第77期定時株主総会 29 中山吉一が代表取締役頭取に就任 29 崎間晃が代表取締役会長に就任 29 営業本部制から担当役員制へ移行 29 社外監査役制度の導入 — 女子学生向け企業案内誌『BLOOMING』発刊 | 5. 15 日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)開幕 |
| | 9. 6 「リゅうぎん友の会」定期総会 27 那覇ポート支店が改築 | 6. 9 皇太子徳仁親王殿下、小和田雅子さまとご成婚 21 定期性預貯金利の完全自由化 21 スーパーMMC廃止 |
| | 10. 12 第2回「リゅうぎん紅型デザイン公募展」表彰式 | 8. 9 細川護熙連立内閣誕生 9 沖縄開発庁長官に上原康助氏就任(県選出で初の入閣) |
| | 11. 9 第23回全日本選抜QCサークル大会で繁多川支店サークルが金賞受賞 29 第77回定例営業店長会議 | 9. 6 コスモ証券破綻、大和銀行が子会社化 16 政府が6兆2千億円の緊急経済対策を決定 21 日銀が公定歩合引下げ(2.5%→1.75%) |
| | | 10. 1 改正商法施行 1 中部製糖・琉球製糖・第一製糖が合併し翔南製糖設立 26 JR東日本の株式上場 |
| | | 11. 12 県内最大規模のスーパー「ジャスコ那覇ショッピングセンター」開店 18 沖縄県警察本部庁舎落成 |
| 1994 平成6年 | | 12. 5 第9回NAHAマラソン開催 13 冷夏で大凶作、コメを大量輸入 31 金融機関が年末休業 |
| | | 1. 1 非課税貯蓄限度額増額(マル優・マル特枠350万円・マル財枠550万円) |
| | 4. 1 中期経営計画「OCEAN(オーシャン)プラン」スタート(94年度~96年度) 1 信託代理店業務取扱い開始 | 2. 12 リレハンメル冬季五輪開催 16 トロピカルテクノセンター落成 22 琉球バス倒産、負債総額110億円 3. 1 「銀座わたしたショップ」が東京銀座でオープン 4. 1 沖縄県観光開発公社と沖縄県観光連盟が合併し財団法人沖縄ビジターズビューロー設立 15 名城大学開学 28 羽田孜内閣発足 |

| 年号 | 当 行 | 社会の動き【 県内・国内・海外 】 |
|--------------|---|--|
| 1994 平成6年 | 6. 10 第78回定例営業店長会議 10 第6回個人表彰授与式 29 第78期定時株主総会 — 本部支店が仮店舗に移転 | 6. 21 ニューヨーク外為市場で1ドル=99円85銭と戦後初の100円割れを記録 29 村山富市内閣誕生 |
| | 7. 1 ALM特別室を設置 1 融資部を廃止し審査第一部と審査第二部設置 1 システム部と事務部を事務企画部として統合 6 「リゅうぎん友の会」定期総会 11 坂田支店を新設 | 7. 8 北朝鮮主席、金日成氏が死去 |
| | 9. 4 崎浜秀英相談役(元頭取)逝去 | 8. 24 第1回「沖縄県・福建省サミット」開催 9. 4 関西国際空港開港 |
| | 10. 1 スプレッド収益管理会計制度へ移行 3 新国際システム稼働 3 「新型住宅ローン」発売 14 第3回「リゅうぎん紅型デザイン公募展」表彰式 25 QCサークル国際大会に繁多川支店サークルが参加 | 10. 17 流動性預貯金金利の完全自由化 |
| | 11. 1 琉球信用保証サービス(株)がリゅうぎん保証(株)に改称 — 新しい企業格付制度導入 | 11. 2 厚生年金特別措置(沖縄特例)を含む年金改革関連法案成立 25 税制改革関連法成立、消費税5%に |
| | 12. 1 第79回定例営業店長会議 | 12. 4 第10回NAHAマラソン開催 6 全銀協が懸賞付き定期預金解禁を発表(同時に一般景品としての現金・商品券の提供も解禁) 9 東京協和と安全信組が経営破綻(信組の破綻が相次ぐ) 17 第27代日本銀行総裁に松下康雄氏就任 |
| | 4. 1 リストラに着手(店舗統廃合・人件費削減・本部組織のスリム化等) 29 ATM「ホリデーバンキング」361日稼働サービス開始 | 1. 1 ガットを引継ぐ世界貿易機構(WTO)発足 17 阪神・淡路大震災 3. 20 オウム真理教による「地下鉄サリン事件」発生 |
| | 5. 26 第80回定例営業店長会議 26 第7回個人表彰授与式 | 4. 14 日銀が公定歩合引下げ(1.75%→1.0%) 19 東京外為市場で1ドル79円75銭、戦後最高値を更新 21 泊埤頭旅客ターミナルビル「とまりん」開業 |
| | 6. 29 第79期定時株主総会 29 資金証券部と国際部を証券国際部として統合 29 審査第一部と審査第二部を審査部として統合 29 事務企画部と事務集中部を事務統括部として統合 | 6. 5 介護休業法成立 20 「駐留軍用地の返還に伴う特別措置に関する法律」(軍転法)成立 |
| | 7. 14 「リゅうぎん友の会」定期総会 17 本部支店が新築移転 | 7. 3 東証平均株価が一時1万4,295円、バブル崩壊後最安値 |
| 1995 平成7年 | 9. 21 第4回「リゅうぎん紅型デザイン公募展」表彰式 | 8. 1 県立公文書館開館 2 戦後50年目、天皇・皇后両陛下来県「平和の礎」参拝 30 兵庫銀行と木津信用金庫が経営破綻 |
| | 10. 16 (株)オークスとキャッシングサービスで業務提携 | 9. 8 日銀が公定歩合引下げ(1.0%→0.5%) 26 大和銀行ニューヨーク支店が金融取引で1,100億円損失発生 |
| | 11. 7 新日銀代理店国庫記帳システム稼働 15 ハワイ銀行と友好関係提携 24 第81回定例営業店長会議 | 10. 1 琉球朝日放送(QAB)開局 16 固定金利定期預金の最長預入期間制限撤廃 11. 20 日米特別行動委員会(SACO)発足 |
| | 12. 18 リゅうぎん総合管理(株)を設立 — 公益信託「宇流麻(うるま)福祉基金」の管理・運営を三菱信託銀行(現三菱UFJ信託銀行)の代理店として引受け | 12. 3 第11回NAHAマラソン開催 19 政府が住専問題の処理方針を閣議決定 |
| | 1. 4 浦添事務センタービルに模擬ルーム研修室設置 24 FAX-OCRシステム稼働 | 1. 11 又吉栄喜氏が第114回芥川賞受賞 11 村山内閣総辞職、橋本龍太郎内閣発足 |
| 1996 平成8年 | 2. 1 懸賞付定期預金「ゆめま〜る」発売 | 2. 1 国内最大規模の海水淡水化施設「北谷浄水場」稼働 |
| | 3. — 創立後初の赤字決算(96年3月期) | |

| 年号 | 当 行 | 社会の動き【 県内・国内・海外 】 |
|--------------|---|---|
| 1996 平成8年 | 4. 1 中期経営計画「OCEANプランII」スタート(96年度～98年度) 1 「経営効率化推進要綱」を策定し本格的リストラ実施 1 QC活動を全店一律型活動から支援型活動へ変更 22 八重山支店が新築移転 22 「金利選択型住宅ローン」発売 22 転身支援制度導入 | 4. 1 三菱銀行と東京銀行が合併「東京三菱銀行」誕生 1 生保・損保の相互乗り入れを認める新保険業法施行 1 沖縄コンベンションビューロー発足 12 普天間基地返還で日米合意(移設による返還を条件とする) 17 日米共同宣言発表で沖縄基地の整理・縮小を明記 |
| | 5. 20 石川支店が改築 29 創立後初の赤字決算を発表 31 第82回定例営業店長会議 31 第8回個人表彰授与式 | 5. 2 全国地銀64行中9行が赤字に転落、43行が予想利益を下方修正 10 「紅型」の玉那覇有公氏が人間国宝に |
| | 6. 27 第80期定時株主総会 30 ニューヨーク駐在員事務所閉鎖 | 6. 18 住専処理法、預金保険法改正など金融関連6法が成立 21 JR西日本が東証・大証に株式上場申請 |
| | 7. 1 営業統括部内にお客様相談室を設置 4 「リゅうぎん友の会」定期総会 | 7. 19 アトランタ夏季五輪開催 |
| | 8. 1 介護休業制度導入 19 第1回「宇流麻福祉基金」助成金贈呈式 29 大学生インターンシップ受入れ | 8. 20 沖縄米軍基地所在市町村に関する懇談会(島田懇)設置 28 不法占拠・代理署名訴訟、大田県知事最高裁で敗訴 31 住宅金融債権管理機構が住専7社と財産譲渡契約締結 |
| | 9. 17 テレマーケティングシステム稼働 24 大阪支店を閉鎖 26 第5回「リゅうぎん紅型デザイン公募展」表彰式 | 9. 2 (株)整理回収銀行発足 17 沖縄政策協議会設置が閣議決定 |
| | 11. 15 第83回定例営業店長会議 | 11. 11 橋本首相「日本版金融ビッグバン」宣言 11 県が国際都市形成構想を策定 21 大蔵省が阪和銀行に戦後初の業務停止命令 |
| | | 12. 1 第12回NAHAMARASON開催 2 日米政府がSACO最終報告を承認 |
| | | |
| | | |
| 1997 平成9年 | 2. 25 定期預金の一部解約サービス開始 28 自治会館内出張所を閉鎖 | |
| | 3. 18 金城支店を新設 28 安慶田支店を閉鎖 | 3. 7 大手証券会社で総会屋事件 |
| | 4. 1 資本金128億円に増資 1 松本行雄が代表取締役頭取に就任 1 中山吉一が取締役に就任 1 「リゅうぎん純金積立」発売 1 「窓口対応技能認定制度」制定 1 全営業店で「街の笑顔応援団」活動開始 4 臨時営業店長会議 | 4. 1 消費税率引上げ実施(3%→5%) 17 米軍基地の改正特措法成立 25 大蔵省が日産生命に業務停止命令 |
| | 5. 1 リゅうぎんホームページ開設 30 第84回定例営業店長会議 30 第9回個人表彰授与式 | |
| | 6. 7 中山吉一取締役(前頭取)逝去 23 東京支店・事務所・証券国際部分室が千代田区丸の内に移転 27 第81期定時株主総会 27 審査管理部を新設 | 6. 1 改正商法(ストックオプション解禁等)施行 12 県が産業創造アクションプログラムを策定 |
| | 7. 1 早期是正措置に向けた自己査定事務が始まる 18 「リゅうぎん友の会」定期総会 22 目的別ローン「笑顔応援団」発売 — ATMでの定期預金作成サービス開始 | 7. 1 香港がイギリスから中国へ返還 2 タイの変動相場制移行を機にアジア通貨危機が拡大 17 目取真俊氏が第117回芥川賞受賞 31 県立武道館落成 31 大蔵省が店舗通達を廃止(銀行店舗設置の完全自由化) |
| | 8. 1 店舗外ATM時間延長(午後8時まで) | |
| | 9. 24 第6回「リゅうぎん紅型デザイン公募展」表彰式 | 9. 18 ヤオハンジャパンが会社更生法申請(流通業界で戦後最大の負債額) |
| | 10. 1 地域貢献室設置 1 リゅうぎんビジネススクラブ設立 1 プレ創立50周年キャンペーン 4 リゅうぎんビジネススクール(行内土曜講座)開始 | 10. 27 アジア通貨危機を背景にニューヨーク株式市場の株価大暴落 |

| 年号 | 当 行 | 社会の動き【 県内・国内・海外 】 |
|---------------|--|--|
| 1997 平成9年 | 11. 1 個人顧客データベース・システム「MCIF」稼働 27 第85回定例営業店長会議 — 満期自由型定期預金「ナイスプラン」発売 12. 16 CS推進委員会設置 16 営業店にCS小委員会設置 | 11. 3 三洋証券が会社更生法申請 4 政府が県案「国際都市形成へ向けた新たな産業振興策」を正式決定 17 北海道拓殖銀行が経営破綻、北洋銀行への営業譲渡を発表 24 山一證券が自主廃業 26 徳陽シティ銀行が経営破綻、仙台銀行への営業譲渡を発表 12. 5 金融持株会社関連2法成立 7 第13回NAHAマラソン開催 17 政府が景気対策として2兆円の特別減税決定 24 大蔵省が早期是正措置の弾力的運用を発表（国内基準金融機関の適用1年延長） |
| | 1. 5 風説の流布による預金流出事件（1/5～1/8） 2. 10 店外ATMが100店舗設置に達する 10 オートコール新システム稼働 23 松川支店を閉鎖 3. 17 ATM稼働午前7時から午後10時まで「セブテンサービス」開始 27 臨時営業店長会議 4. 1 「中期経営計画21」スタート（98年度～00年度） 1 リゅうぎん外貨預金「ビッグバン財」発売 20 「リゅうぎんポイントサービス」開始 28 営業店長会議 | 1. 12 大蔵省が銀行全体の不良債権額を公表 2. 1 那覇市立「壺屋焼き物博物館」開館 6 大田昌秀知事が名護市辺野古への代替基地建設に反対表明 7 長野冬季五輪開催 16 金融安定化2法成立（金融危機時の金融システム安定化のための制度整備、総額30兆円の公的資金投入枠の設定） 3. 11 金融持株会社2法施行 20 第28代日本銀行総裁に速水優氏が就任 30 改正沖縄振興開発特別措置法が成立（特別自由貿易・情報通信産業振興地域・観光振興地域の創設） 30 大手行21行に公的資金を注入（都銀18行、地銀3行で1兆8,156億円） 4. 1 改正日銀法施行 1 「日本版金融ビッグバン」始動 1 改正外為法施行 1 「早期是正措置」の運用開始 8 大蔵省が「金融検査マニュアル」公表 24 政府が16兆6,500億円の総合経済対策を決定 |
| 1998 平成10年 | 5. 1 創立50周年キャンペーン「おかげさまで50周年」開始 1 公募による女性職員夏制服の採用 1 窓口営業時間を午後3時までから午後4時までに変更 1 「リゅうぎんまるごとラジオ」放送（以後創立記念日に実施） 27 赤字決算発表 29 第86回定例営業店長会議 29 第10回個人表彰授与式 6. 3 行内LAN「リゅうぎんネット」稼働 26 第82期定時株主総会 26 審査管理部に不動産管理センターを設置 7. 17 「リゅうぎん友の会」定期総会 8. 9 「リゅうぎん杯第1回沖縄県グランドゴルフ大会」開催 9. 1 集配金業務を日本通運に委託 10. 7 第7回「リゅうぎん紅型デザイン公募展」表彰式 | 5. 15 「首里織物」の宮平初子氏が人間国宝に 6. 5 金融ビッグバン関連法案成立（12月1日施行） 9 沖縄県工業技術センター落成式 22 金融監督庁発足（大蔵省から金融検査・監督部門を分離継承） 7. 30 小淵恵三内閣発足 9. 9 日銀が短期誘導金利を戦後最低の0.25%に、同時に量的金融緩和を決定 14 県がマルチメディアアイランド構想を策定 28 日本リースが経営破綻 10. 1 中小企業金融安定化特別資金制度実施 12 金融再生法成立 16 金融機能早期健全化措置法成立 16 公的資金枠43兆円の予算措置成立 22 NTTドコモが東証一部上場 23 日本長期信用銀行が特別公的管理（一時国有化）決定 |

| 年号 | 当 行 | 社会の動き【 県内・国内・海外 】 |
|--|--|--|
| 1998 平成10年 | 11. 1 公募による女性職員冬制服の採用 20 沖縄県職員給与の口座振込開始 20 インストアランチ「マックスバリュ安謝店出張所」開設 27 第87回定例営業店長会議 27 プラザ支店を閉鎖 — 公益信託「源河朝明記念那覇市社会福祉基金」の管理・運営を三菱信託銀行（現三菱UFJ信託銀行）の代理店として引受け | 11. 15 県知事選挙で稲嶺恵一氏当選 16 政府が総額23兆9,000億円の緊急経済対策を決定 |
| | 12. 1 投資信託の窓口販売開始 25 臨時営業店長会議 — 「メモリアルデー・メモリアルウィーク」制定 | 12. 1 金融システム改革法施行 1 証券取引法の大改正 1 銀行窓口での投資信託販売解禁 6 第14回NAHAマラソン開催 13 日本債券信用銀行が特別公的管理 15 金融再生委員会発足 |
| 1999 平成11年 | 1. 4 時差出勤制度導入 19 牧野前常任監査役が沖縄県副知事就任 | 1. 1 EU11カ国の単一通貨ユーロ誕生 18 郵貯と民間金融機関とのATM・CD相互提携開始 |
| | 2. 15 不動産担保評価システム稼働 22 新型外貨預金「ライズ (RISE)」発売 26 市場前支店を閉鎖 | 2. 12 日銀がゼロ金利政策導入 12 日銀の政策金利が公定歩合から無担保コール翌日物に |
| | 3. 5 海外両替カード「ワールドキャッシュ」発売 9 口座振替事務「イメージ処理」システム稼働 24 プロ野球応援定期預金「Vキャンプ」発売 29 郵貯とATM提携 — 税効果会計導入（99年3月期） — 銀行法改正にもとづく連結決算実施（99年3月期） | 3. 25 中城湾港新港地区を特別自由貿易地域に指定 30 政府が大手15行に総額7兆4,592億円の公的資金注入 |
| | 4. 1 新店舗戦略「エリア制度」実施 2 営業店長会議 23 三原支店を閉鎖 27 沖縄広告協会主催「第17回広告賞」金賞受賞 28 営業店長会議 | 4. 1 有価証券取引税廃止 1 (株)整理回収銀行と住宅金融債権管理機構が合併し「(株)整理回収機構」発足 4 沖縄尚学高校が春の甲子園で県勢初優勝 8 金融監督庁が「金融検査マニュアル」公表 29 政府が2000年サミット会場を沖縄県に決定発表 |
| | 5. 26 那覇空港内出張所が移転 26 2期連続の赤字決算を発表 31 リゅうぎん不動産管理(株)設立 | 5. 21 「読谷山花織」の与那嶺貞氏が人間国宝に 22 幸福銀行が経営破綻 26 那覇空港の新国内線旅客ターミナルビル供用開始 |
| | 6. 1 「サミット定期預金」発売 1 「リゅうぎんサミットローン」発売 11 労働省主催「均等推進企業努力賞」受賞 18 リゅうぎんオフィスサービス(株)設立 18 第88回定例営業店長会議 18 第11回個人表彰授与式 29 第83期定時株主総会 29 総合企画部内に法務室を設置 | 6. 4 東邦生命保険が経営破綻 12 金融再生委員会が東京相和銀行を破綻認定 |
| | 7. 1 新人事制度スタート 1 テレホンバンキングセンター開設 1 テレホンバンキングシステム稼働 5 外貨宅配サービス開始 12 「リゅうぎん友の会」定期総会 22 安里支店を閉鎖 | 7. 16 平和祈念資料館完成 |
| | 8. 2 2000年サミット支援委員会設置 16 臨時営業店長会議 17 地元2紙に県内400社による「リゅうぎんを応援します」の全面広告掲載 22 第8回「リゅうぎん紅型デザイン公募展」表彰式 | 8. 7 金融再生委員会がなみはや銀行を破綻認定 31 沖縄山形屋閉店 |
| 9. 2 『経営の健全化のための計画』を策定し金融再生委員会に公的資金を申請 13 金融再生委員会が申請を承認 26 第三者割当増資（4,913先・227億円調達） 29 公的資金400億円を導入（無担保転換社債発行） | 9. 13 地域銀行4行へ公的資金を注入決定 | |
| 10. 5 那覇住宅ローンセンターを開設 | 10. 1 株式売買手数料が完全自由化 1 銀行による普通社債の発行解禁 | |

| 年号 | 当 行 | 社会の動き【 県内・国内・海外 】 |
|---|---|--|
| 1999 平成11年 | 11. 14 「リゅうぎん杯第2回沖縄県グランドゴルフ大会」開催 22 中部住宅ローンセンターを開設 22 コザ十字路支店が新築移転 22 知花支店を閉鎖 26 システム共同化移行を発表 29 第89回定例営業店長会議 | 11. 11 東証が新興市場マザーズを開設 11 政府が総事業費18兆円の経済対策を発表 22 県が普天間基地の名護市辺野古への移設を受入表明 |
| | 12. 1 「個人ローン24時間受付サービス」開始 13 「現金お届けサービス」開始 20 携帯電話・PHSからテレホンバンキング利用可能に | 12. 5 第15回NAHAMARASON開催 17 全国初の国内線ターミナルでの特定免税店が那覇空港新ターミナルビルに開設 20 ボルトガル統治下のマカオが中国に返還 28 政府が普天間基地の名護市辺野古への移設を閣議決定 |
| 2000 平成12年 | 1. ー 金融庁に『経営の健全化のための計画の履行状況に関する報告書（平成12年1月）』提出（以降6ヵ月ごとに策定・提出） | 1. 1 コンピュータ西暦2000年問題が無事経過 |
| | 2. 1 「ジャンボ宝くじ付定期預金」発売 1 「ローン革命15」発売 | 2. 1 組織的犯罪処罰法施行 |
| | 3. 6 「デビットカード（J・Debit）サービス」開始 ー 退職給付会計を導入し、退職給付債務を一括処理（00年3月期） ー キャッシュフロー計算書導入（00年3月期） | 3. 6 「Jデビットカードシステム」が全国で本格稼働 27 宜野湾バイパス全線開通 |
| | 4. 1 証券国際部の東京分室を閉鎖 3 投資信託取扱いを全店に拡大 7 営業店長会議 | 4. 1 介護保険制度開始 1 民事再生法施行 1 近畿銀行と大阪銀行が合併「近畿大阪銀行」誕生 5 森喜朗内閣発足 |
| | 5. 15 那覇ポート支店を出張所に変更 25 営業店長会議 25 3期連続赤字決算を発表 28 住宅ローン休日相談会を50店で一斉実施 | 5. 7 新生ロシアの第2代大統領にプーチン氏就任 8 大阪証券取引所「ナスダック・ジャパン」開設 14 万国津梁館（サミット首脳会議会場）落成式典 19 「琉球古典音楽」の島袋正雄氏と照喜名朝市氏、「芭蕉布」の平良敏了氏が人間国宝に |
| | 6. 16 第90回定例営業店長会議 16 第12回個人表彰授与式 18 那覇および中部住宅ローンセンターが日曜営業開始 27 リスク管理部を設置 27 テレホンバンキングセンターをダイレクトバンキングセンターに改称 29 第84期定時株主総会 | 6. 2 久米島で沖縄県海洋深層水研究所が開所 5 日本長期信用銀行が新生銀行として再スタート 19 ナスダック・ジャパンが取引開始 25 衆院選で東門美津子氏が当選、沖縄初の女性国会議員誕生 |
| | 7. 3 「イーネットATM」サービス開始 6 「リゅうぎん友の会」定期総会 19 九州・沖縄サミット会場内に店舗出店 ー システム共同化参加行組織「6行会」が「じゅうだん会」に改称 | 7. 1 金融監督庁と大蔵省金融企画局が統合し「金融庁」発足 12 百貨店そごうグループが民事再生法申請 19 守礼門デザインの2千円札発行 21 主要国首脳会議「九州・沖縄サミット」開催 |
| | 8. 7 「リゅうぎんカードローン速30」発売 16 第9回「リゅうぎん紅型デザイン公募展」表彰式 21 那覇支店を出張所に変更 21 若狭出張所を閉鎖 28 東京支店・東京事務所が千代田区神田に移転 | 8. 11 日銀がゼロ金利政策解除を決定 25 政府が産業振興計画と位置づける沖縄経済振興21世紀プランの最終報告を決定 |
| | 9. 1 本店営業部に「リゅうぎんマネープラザ」設置 1 事業性貸出自動審査システム稼働 1 事業性スピードローン「リゅうぎんビジネス快速・ハ〜リ〜」発売 27 資金証券システム稼働 29 無担保転換社債（公的資金）が優先株に転換 | 9. 7 サンエーが店頭株式公開 15 シドニー夏季五輪開催 29 国内初の金融持ち株会社「みずほホールディングス」誕生 |
| | 10. 1 コース別人事制度実施 8 テレビ会議システム導入 | 10. 9 千代田生命が経営破綻 12 日本初のインターネット専門銀行「ジャパンネット銀行」営業開始 |
| 11. 7 システムの一部を日本アイ・ピー・エムヘアアウトソーシング 24 沖映通り支店を閉鎖 28 第91回定例営業店長会議 | 11. 12 那覇市長選で翁長雄志氏当選、32年ぶりに保守市政奪還 30 琉球王国のグスクおよび関連遺産群の世界遺産登録決定 | |
| 12. 1 役付者の専任行員制度導入 1 早期退職優遇制度導入 1 退職手当清算制度導入 | 12. 3 第16回NAHAMARASON開催 | |

| 年号 | 当 行 | 社会の動き【 県内・国内・海外 】 |
|---------------|--|---|
| 2001 平成13年 | 1. 4 法人営業部を融資管理部に改称 | 1. 1 生・損保の子会社方式による保険第三分野相互参入全面解禁 4 日本債券信用銀行があおぞら銀行に改称 6 沖縄開発庁廃止で内閣府が沖縄政策を所管 6 中央省庁再編（1府22省庁が1府12省庁となる） 6 大蔵省が財務省に改称 6 金融再生委員会廃止 20 第43代米国大統領にジョージ・W・ブッシュ氏就任 |
| | 3. 12 牧志市場支店を牧志市場出張所に変更 — 公的資金返済に向けて43億7,041万円を積立て（01年3月期） — 金融商品時価会計導入（01年3月期） | 3. 19 日銀が量的緩和政策を開始、同時にゼロ金利政策へ 31 第2牧志公設市場閉鎖 |
| | 4. 1 大城勇夫が代表取締役頭取に就任 1 松本行雄が取締役相談役に就任 1 中期経営計画「Speed2001」スタート（01年度～02年度） 2 保険窓販一部解禁で住宅ローン関連長期火災保険の取扱い開始 6 臨時営業店長会議 18 システム共同化で最終合意調印式 29 北部寮改築 | 4. 1 金融商品販売法と消費者契約法施行 1 住友銀行とさくら銀行が合併「三井住友銀行」誕生 2 保険商品の銀行窓販一部解禁 2 東京三菱銀行、三菱信託銀行、日本信託銀行が持ち株会社である「三菱東京フィナンシャル・グループ」設立 2 三和銀行、東海銀行、東洋信託銀行が「UFJホールディングス」設立 2 NHK連続テレビ小説「ちゅらさん」放送開始 25 沖縄産業支援センターの供用開始 26 小泉純一郎内閣発足 |
| | 5. 25 第92回定例営業店長会議 25 第13回個人表彰授与式 28 インターネットバンキング・モバイルバンキング取扱い開始 — 融資業務効率化プロジェクトチーム発足（01年5月～02年3月） | |
| | 6. 11 県庁支店を出張所に変更 12 県内初のFP1級資格者誕生 28 第85期定時株主総会 28 監査役室を設置 | 6. 11 ネット専業のソニー銀行営業開始 |
| | 7. 1 沖縄市の指定金融機関が当行単独指定から輪番制に移行 4 「リゅうぎん友の会」定期総会 9 「株主優待定期預金」発売 31 (株)シティが解散 | 7. 13 ETFが東証と大証に上場 13 那覇市情報公開訴訟で国敗訴 23 ネット専業のイーバンク銀行営業開始 |
| | 8. 1 牧港住宅ローンセンターを開設 9 第10回「リゅうぎん紅型デザイン公募展」表彰式 20 臨時営業店長会議 | 8. 17 (株)CSKコミュニケーションズがナスダック上場決定（9/18上場） |
| | 9. 30 預かり資産（投信・国債）残高100億円突破 | 9. 10 不動産投資信託（日本版REIT）が東証に上場 11 米国同時多発テロ発生 12 日経平均、17年ぶりに1万円割れ |
| | 10. 1 新「貸出金利ガイドライン」運用開始 1 印鑑照合システム導入 22 「テロ風評被害経営支援融資制度」取扱い開始 25 「アンサーSPC」「B toバンク」サービス開始 | 10. 1 金庫株解禁 1 確定拠出年金法（日本版401k）企業型が施行 19 緊急観光キャンペーン「だいじょうぶさあ～沖縄」展開 26 沖縄信用金庫が経営破綻、業務停止命令発動 |
| | 11. 28 頭取によるIR（経営説明会）を開始（11/28～12/27） 30 第93回定例営業店長会議 | 11. 29 MMFに初の元本割れ発生 |
| 2002 平成14年 | 2. — 儀保支店を閉鎖 3. 12 「おまとめローン」発売 20 じゅうだん会「システム共同化推進委員会」発足 | 12. 2 第17回NAHAマラソン開催 1. 4 「銀行等の株式等の保有の制限等に関する法律」施行 15 三和銀行と東海銀行が合併「UFJ銀行」誕生 17 確定拠出年金法（日本版401k）個人型施行 30 銀行等保有株式取得機構設立 2. 5 日経平均株価が18年ぶりに9,500円割れ 8 ソルトレークシティー冬季五輪開催 3. 1 沖縄電力が東証第一部に上場 18 コザ信用金庫が沖縄信用金庫を吸収合併 29 沖縄振興特別措置法が成立（情報通信特区、金融特区の創設など） |

| 年号 | 当 行 | 社会の動き【 県内・国内・海外 】 |
|--|---|--|
| 2002 平成14年 | 4. 1 写真付行員証制定 1 女性職員の夏制服を廃止 1 検査手法にプロセス・チェックシステム導入 10 「リゅうぎん給振フリーローン」発売 | 4. 1 定期性預金のペイオフ解禁 1 沖縄振興特別措置法施行 1 豊見城村が豊見城市へ移行 1 仲里村と具志川村が合併し久米島町発足 1 県内の27JAが合併し県単一の「JAおきなわ」が発足 1 第一勧業銀行・富士銀行・日本興業銀行の再編で「みずほ銀行」「みずほコーポレート銀行」誕生 |
| | 5. 11 那覇・牧港・中部住宅ローンセンターが土曜営業開始 24 執行役員制度導入決定 31 第94回定例営業店長会議 31 第14回個人表彰授与式 | 5. 28 経団連と日経連が統合し日本経済団体連合会が発足 |
| | 6. 1 「ガン保障特約付住宅ローン」発売 26 松尾支店が店舗改装しインプラチナストア開設 27 第86期定時株主総会 | 6. 28 金融庁が金融検査マニュアル別冊「中小企業融資編」公表 |
| | 7. 1 個人ローン受付システム稼働 1 貸出金利適性化の取組み強化 4 「リゅうぎん友の会」定期総会 | 7. 10 政府が沖縄振興計画を決定、「開発」の文字を削除 19 全銀行が四半期決算を公表 29 普天間代替「埋め立て」で合意 |
| | 8. 9 四半期情報開示の開始 13 第11回「リゅうぎん紅型デザイン公募展」表彰式 | 8. 5 住民基本台帳ネットワークシステム(住基ネット)開始 21 オリオンビールがアサヒビールとの包括的業務提携を発表 |
| | 9. 1 検査部を監査部に改称 1 事務統括部共同化移行準備室を設置 1 リゅうぎん金融資料館を閉鎖 9 今帰仁支店を出張所に変更 10 「リゅうぎん財務アドバイスサービス」開始 10 「リゅうぎんビジネス快速II・スーパーハ〜リ〜」発売 23 個人ローンのテレビCMを制作・放映 | 9. 18 日銀が民間銀行の保有株式買取り方針を決定 30 竹中平蔵氏が金融担当大臣(経済財政担当大臣兼任)就任 |
| | 10. 7 定額年金保険と変額年金保険商品の取扱い開始 23 来店不要型ローン「ポストでローン」発売 24 第95回定例営業店長会議 | 10. 1 生命保険の銀行窓販一部解禁 1 大和銀ホールディングスがリそなホールディングスに改称 7 ペイオフ完全解禁2年後に延期 30 金融庁が「金融再生プログラム」公表 |
| | 11. 1 沖縄県年金福祉協会から年金住宅融資債権を譲受 29 第96回定例営業店長会議 | 11. 1 「沖縄美ら海水族館」開館 |
| | 12. 1 厚生年金基金の代行部分返上が認められる | 12. 1 第18回NAHAマラソン開催 16 大証が新興企業向け市場「大証ヘラクレス」開設 |
| | 2003 平成15年 | 1. 20 積立式投資信託「つみとくくん」発売 20 創立55周年「リゅうぎんプレゴ〜ゴ〜キャンペーン」実施 |
| 3. 4 県内初の金融窓口サービス技能士1級が誕生 - 「グローバル・ソブリン・オープン」発売 | | 2. 3 個人向け国債(第1回債)募集開始 25 金融庁が金融再生プログラムを受け検査マニュアルを改訂 3. 1 大和銀行とあさひ銀行の再編で「リそな銀行」「埼玉りそな銀行」が誕生 20 第29代日本銀行総裁に福井俊彦氏が就任 28 金融庁が「リレーションシップバンキングの機能強化に関するアクションプログラム」公表 |
| 2003 平成15年 | 4. 1 中期経営計画「Quality2003」スタート(03年度~04年度) 1 法人融資部に経営サポート室を設置 3 第97回定例営業店長会議 | 4. 1 日本郵政公社誕生 1 関東銀行とつくば銀行が合併「関東つくば銀行」誕生 16 (株)産業再生機構発足 28 日経平均バブル後最安値を記録(終値7,607円80銭) |
| | 5. 1 創立55周年記念事業 ・記念助成事業 ・一人ボランティア運動 ・リゅうぎん夏休み子ども教室開催 1 融資推進プロジェクト室を設置 1 預かり資産推進プロジェクトチームを設置 1 通帳とキャッシュカードのデザイン刷新 23 第98回定例営業店長会議 23 第15回個人表彰授与式 | 5. 17 第1回金融危機対応会議 23 個人情報保護関連5法成立 |

| 年号 | 当 行 | 社会の動き【 県内・国内・海外 】 | |
|---------------|---|--|--|
| 2003 平成15年 | 6. 12 個人向け国債取扱い開始 27 調査部を廃止し総合企画部経済調査室を設置 27 第87期定時株主総会 | 6. 6 有事関連法成立 20 「組踊音楽太鼓」の島袋光史氏が人間国宝に | |
| | 7. 8 リゅうぎんビジネスローン「順風満帆」発売 8 「リゅうぎん友の会」定期総会 | | |
| | 8. 6 「リゅうぎん産業クラスター計画支援ローン」発売 13 第12回「リゅうぎん紅型デザイン公募展」表彰式 15 第1回「リゅうぎん子どもお金教室」開催 | 8. 10 沖縄都市モノレール「ゆいレール」が開業 | |
| | 9. 5 「リレバンの機能強化計画」公表 8 個人事業主向け無担保ローン「即決ご繁盛ローン」発売 24 本店営業部に「マネープランデスク」設置 — 信託貸出勘定を閉鎖 | 9. 1 酒類販売免許の自由化 | |
| | 10. 1 経営改善支援チームを設置 1 営業店検査チームを設置 1 「こんにちは リゅうぎんです」運動開始 1 短期据置型外貨預金「ドルファイター7(セブン)」発売 20 パッケージ型資産運用商品「リゅうぎん三ツ星プラン」発売 31 リゅうぎん不動産管理(株)が解散 | 10. 1 住宅金融公庫が「フラット35」の取扱い開始 | |
| | 11. 18 リゅうぎん事業者支援ローン「ベストサポーター」発売 25 第99回定例営業店長会議 | 11. 29 第2回金融危機対応会議 | |
| | 12. 2 「リゅうぎんまかせて新聞」発刊 12 創立55周年記念企画「第1回窓口対応ロールプレイング全行大会」開催 | 12. 7 第19回NAHAMARASON開催 16 ナスダック・ジャパンからヘラクレスへ市場名を変更 | |
| | 1. 4 通帳の副印鑑制度廃止 | 1. 12 79年ぶりに「鳥インフルエンザ」発生 18 「国立劇場おきなわ」開場 | |
| | 3. 1 琉球銀行厚生年金基金が琉球銀行企業年金基金へ移行 8 金銭信託の新規受託停止 8 「金銭信託預け替え専用定期預金」発売 | | |
| | 4. 9 第100回定例営業店長会議 20 新「信用格付モデル」導入決定 | 4. 1 沖縄キリスト教学院大学(4年制)開学 10 沖縄工業高等専門学校が開校 21 日本振興銀行株式会社が開業 | |
| 2004 平成16年 | 5. 21 第101回定例営業店長会議 21 第16回個人表彰授与式 | 5. 21 裁判員法が成立 | |
| | 6. 29 第88期定時株主総会 29 企業支援部を設置 30 沖縄市役所内出張所が輪番制移行により閉鎖 | 6. 14 「金融機能強化のための特別措置に関する法律」(金融機能強化法)成立 30 第一交通産業(北九州市)が那覇交通から営業譲受、那覇バス事業の開始決定 | |
| | 8. 9 「ローソンATM」サービス開始 11 「リゅうぎん友の会」定期総会 17 第13回「リゅうぎん紅型デザイン公募展」表彰式 17 第2回「リゅうぎん子どもお金教室」 23 法人向けインバン「リゅうぎんBizネット」取扱い開始 | 8. 13 沖縄国際大学本館に米海兵隊大型ヘリが墜落 13 アテネ夏季五輪開催 | |
| | 10. 6 「リゅうぎんビジネスクラブ」をリニューアル 19 第102回定例営業店長会議 | 9. 9 辺野古沖ボーリング調査着手 10. 1 西日本銀行と福岡シティ銀行が合併「西日本シティ銀行」誕生 1 東京海上火災保険と日動火災海上保険が合併「東京海上日動火災保険」誕生 | |
| | 11. 22 第103回定例営業店長会議 | 11. 1 1万円札・5千円札・千円札を20年ぶりに刷新 | |
| | 12. 1 ビジネスマッチング業務開始 | 12. 1 銀行の証券仲介業解禁 5 第20回NAHAMARASON開催 13 新興企業向け市場「ジャスダック証券取引所」始動 13 沖縄セルラー電話(株)がジャスダック証券取引所に上場 15 国内初の空港外大型免税店DFSギャラリアが開業 30 預金口座等の不正利用防止法施行 | |
| | 1. 24 繁多川支店を閉鎖 26 決済用預金「無利息普通預金」取扱い開始 | 2. 4 サンエーが東京証券取引所第二部に上場 17 中部国際空港開港 | |
| | 2005 平成17年 | 2. 18 マックスバリュ安謝店出張所を閉鎖 | |

| 年号 | 当 行 | 社会の動き【 県内・国内・海外 】 |
|--|--|--|
| 2005 平成17年 | 3. 3 住宅ローン債権の一部を証券化 8 第2回窓口対応ロールプレイング全行大会 | 3. 29 金融庁が「地域密着型金融の機能強化の推進に関するアクションプログラム」発表 |
| | 4. 1 長期経営計画「Leap2005」スタート(05年度~09年度) 1 第104回定例営業店長会議 1 コース別人事制度改定(特定総合職廃止) 22 第105回定例営業店長会議 | 4. 1 ベイオフ全面解禁 1 個人情報保護法施行 1 新銀行東京が開業 1 うるま市(具志川市・石川市・勝連町・与那城町の合併)誕生 10 米州開発銀行(IDB)年次総会沖縄開催 |
| | 6. 3 第106回定例営業店長会議 3 第17回個人表彰授与式 28 企業支援部に金融サービス室を設置 28 第89期定時株主総会 | 5. 27 「泊いゆまち」(水産物流センター)オープン 6. 29 新「会社法」成立 |
| | 7. 1 市場誘導業務(株式公開支援)の取扱い開始 1 証券仲介業の取扱い開始 4 本店営業部に「クイック窓口」設置 7 「りゅうぎん友の会」定期総会 27 第3回「りゅうぎん子どもお金教室」 29 第107回定例営業店長会議 | 7. 15 「組踊」の城間徳太郎氏が人間国宝に |
| | 8. 8 大学生インターンシップ受入れ 10 第14回「りゅうぎん紅型デザイン公募展」表彰式 31 「地域密着型金融推進計画」公表 | 8. 3 預金者保護法(偽造カード法)成立 |
| | 9. 21 金銭信託の追加受入停止 | |
| | 10. 7 第108回定例営業店長会議 14 ローンプラザ北部店を開設 | 10. 1 宮古島市(平良市・城辺町・伊良部町・上野村・下地町が合併)誕生 1 三菱UFJフィナンシャルグループ誕生 14 郵政民営化関連法案成立 26 日・米政府が辺野古沿岸部案合意 |
| | 11. 25 第109回定例営業店長会議 | 11. 17 耐震偽装問題事件 |
| | 12. 15 「不動産売買情報の取次ぎサービス」開始 16 みずほ総合研究所(株)と業務提携 | 12. 4 第21回NAHAマラソン開催 22 銀行窓販の生・損保取扱商品が拡大 |
| | 2006 平成18年 | 1. 4 金銭信託勘定を閉鎖 4 共同版システム稼働 |
| 2. 3 きんざい主催「第28回窓口対応・セールスロールプレイング全国大会」に出場 6 第110回営業店長会議 — 情報検索システム「自由自在」導入 | | 2. 1 サンエーが東証一部に上場 1 紀陽銀行と和歌山銀行が「紀陽ホールディングス」設立 10 「預金者保護法(偽造カード法)」施行 10 トリノ冬季五輪開催 |
| 3. 2 第3回窓口対応ロールプレイング全行大会 24 住宅ローン債権の一部証券化 28 当行アレンジャーによるシンジケートローンを初組成 31 「おきなわ中小企業再生ファンド」共同設立 | | 3. 9 日銀が量的緩和政策の解除を発表 29 建設談合事件で公取委が県内152社に排除措置と課徴金命令 |
| 4. 1 新入育成体系スタート 1 継続雇用制度導入 7 第111回定例営業店長会議 — 「融資支援システム」導入 | | 4. 23 沖縄市長に東門美津子氏当選、県内初の女性首長誕生 |
| 5. 1 遺言信託・遺産整理業務の取扱い開始 19 会社法改正に伴う定款の一部変更 26 第112回定例営業店長会議 26 第18回個人表彰授与式 31 りゅうぎん総合管理(株)が解散 | | 5. 1 新「会社法」施行 1 日・米、米軍再編の最終報告を発表 |
| 6. 22 期限付劣後特約付社債を発行し100億円調達 23 ロンパー・オディエ・ダリエ・ヘンチ・ジャパン(株)と協業契約締結 28 第90期定時株主総会 28 (株)りゅうぎん総合研究所設立 30 「お客さま満足度向上」の取組み状況を公表 | | 6. 5 村上ファンドの村上世彰がインサイダー取引疑惑で逮捕 7 金融商品取引法成立 9 琉球王国尚家資料が戦後初の国宝に指定 |

| 年号 | 当 行 | 社会の動き【 県内・国内・海外 】 |
|--|--|---|
| 2006 平成18年 | 7. 4 「パーゼルII」(新BIS規制)に向けたプロジェクト始動 5 東京住宅ローンセンターを開設 14 「リゅうぎん友の会」定期総会 18 南風原文店が飯店舗へ移転 26 「リゅうぎんセカンドステージローン」発売 27 臨時株主総会・種類株主総会 — 県内全店舗を「太陽の家(子ども110番の家)」に指定 | 7. 8 那覇市歴史博物館パレット久茂地にオープン 14 日銀がゼロ金利政策を解除決定 21 「組踊立方」の宮城能鳳氏が人間国宝に |
| | 8. 3 第4回「リゅうぎん子どもお金教室」 14 大学生インターンシップ受入れ 16 第15回「リゅうぎん紅型デザイン公募展」表彰式 | |
| | | 9. 1 第一交通産業が琉球バスから営業譲受、琉球バス交通で事業開始 4 紀陽銀行が公的資金申請 26 安倍晋三内閣発足 |
| | 10. 2 第二種優先株式による第三者増資で200億円を調達 2 資本金541億円へ増資 5 第113回定例営業店長会議 11 公的資金を一部(340億円)返済(第一種優先株式の買取り消却) 20 コンプライアンス統括室を設置 | 10. 2 山口銀行ともみじホールディングスが経営統合し「山口フィナンシャルグループ」誕生 10 景気拡大が戦後最長の「いざなぎ景気」に並ぶ 10 紀陽銀行が和歌山銀行を吸収合併 |
| | 11. 2 田場典正顧問(元頭取)逝去 24 第114回定例営業店長会議 27 崎間晃顧問が県功労賞受賞 | 11. 19 県知事選挙で仲井眞弘多氏が当選 |
| | 12. 11 嘉手納支店が移転 18 受信事務チーフ制度導入 | 12. 3 第22回NAHAMARON開催 15 改正教育基本法成立 |
| | 1. 24 第4回窓口対応ロールプレイング全行大会 | 1. 4 10万円を超える現金振込に本人確認義務 |
| | 2. 27 第115回営業店長会議 | 2. 28 米国のサブプライムローン問題で世界同時株安 |
| | 3. — 「パーゼルII国内基準」適用(07年3月期) | 3. — 「パーゼルII」適用開始(07年3月期) |
| | 4. 1 中期経営計画「CHALLENGE51」スタート(07年度～09年度) 1 当行初の中国トレーニー派遣 6 第116回定例営業店長会議 16 退職金専用定期「ネクストチャレンジ」発売 | 4. 2 福岡銀行と熊本ファミリー銀行が経営統合「ふくおかフィナンシャルグループ」誕生 |
| 5. 25 第117回定例営業店長会議 25 第19回個人表彰授与式 | 5. 7 殖産銀行と山形しあわせ銀行が合併し「きらやか銀行」誕生 14 国民投票法成立 | |
| 6. 4 ICキャッシュカード発行 26 第二種優先株式が普通株式に転換完了 28 第91期定時株主総会 | 6. 20 改正建築基準法施行 | |
| 7. 13 「リゅうぎん友の会」定期総会 | | |
| 8. 2 動産担保貸出実行 6 大学生インターンシップ受入れ 9 第5回「リゅうぎん子どもお金教室」 15 第16回「リゅうぎん紅型デザイン公募展」表彰式 | 8. 20 中華航空機が那覇空港の国際線ターミナル駐機場場で爆発・炎上 | |
| | 9. 25 安倍晋三首相が退陣、福田康夫内閣発足 30 金融商品取引法施行 | |
| 10. 12 第118回定例営業店長会議 | 10. 1 日本郵政グループ「ゆうちょ銀行」「かんぽ生命」誕生 1 ふくおかフィナンシャルグループが親和銀行を統合 29 (株)イオン銀行開業 | |
| 11. 8 第119回営業店長会議 22 第120回定例営業店長会議 26 南風原文店が移転 28 インターネットによる投信販売開始 — 「地域密着型金融推進計画」公表 | 11. 1 沖縄県立博物館・美術館が開館 | |
| 12. 10 「外為WEB受付サービス」開始 25 医療保険取扱い開始(九州地銀初) 25 那覇新都心支店を新設(10年ぶりの新設店舗) | 12. 2 第23回NAHAMARON開催 4 旧与那国家住宅(竹富島)が国の重要文化財に指定 22 生・損保の銀行窓販が全面解禁 | |
| 2007 平成19年 | 1. 24 第4回窓口対応ロールプレイング全行大会 | 1. 4 10万円を超える現金振込に本人確認義務 |
| | 2. 27 第115回営業店長会議 | 2. 28 米国のサブプライムローン問題で世界同時株安 |
| | 3. — 「パーゼルII国内基準」適用(07年3月期) | 3. — 「パーゼルII」適用開始(07年3月期) |
| | 4. 1 中期経営計画「CHALLENGE51」スタート(07年度～09年度) 1 当行初の中国トレーニー派遣 6 第116回定例営業店長会議 16 退職金専用定期「ネクストチャレンジ」発売 | 4. 2 福岡銀行と熊本ファミリー銀行が経営統合「ふくおかフィナンシャルグループ」誕生 |
| | 5. 25 第117回定例営業店長会議 25 第19回個人表彰授与式 | 5. 7 殖産銀行と山形しあわせ銀行が合併し「きらやか銀行」誕生 14 国民投票法成立 |
| | 6. 4 ICキャッシュカード発行 26 第二種優先株式が普通株式に転換完了 28 第91期定時株主総会 | 6. 20 改正建築基準法施行 |
| | 7. 13 「リゅうぎん友の会」定期総会 | |
| | 8. 2 動産担保貸出実行 6 大学生インターンシップ受入れ 9 第5回「リゅうぎん子どもお金教室」 15 第16回「リゅうぎん紅型デザイン公募展」表彰式 | 8. 20 中華航空機が那覇空港の国際線ターミナル駐機場場で爆発・炎上 |
| | | 9. 25 安倍晋三首相が退陣、福田康夫内閣発足 30 金融商品取引法施行 |
| | 10. 12 第118回定例営業店長会議 | 10. 1 日本郵政グループ「ゆうちょ銀行」「かんぽ生命」誕生 1 ふくおかフィナンシャルグループが親和銀行を統合 29 (株)イオン銀行開業 |
| 11. 8 第119回営業店長会議 22 第120回定例営業店長会議 26 南風原文店が移転 28 インターネットによる投信販売開始 — 「地域密着型金融推進計画」公表 | 11. 1 沖縄県立博物館・美術館が開館 | |
| 12. 10 「外為WEB受付サービス」開始 25 医療保険取扱い開始(九州地銀初) 25 那覇新都心支店を新設(10年ぶりの新設店舗) | 12. 2 第23回NAHAMARON開催 4 旧与那国家住宅(竹富島)が国の重要文化財に指定 22 生・損保の銀行窓販が全面解禁 | |

| 年号 | 当 行 | 社会の動き【 県内・国内・海外 】 |
|---------------|--|---|
| 2008 平成20年 | 1.22 第5回窓口対応ロールプレイング全行大会 | |
| | 2. 1 「Pay-easy口座振替受付サービス」開始 14 第121回営業店長会議 20 リゅうぎんビジネスローン「速マル」発売 | |
| | 3.31 (株)琉信が解散 | |
| | 4. 1 住宅金融支援機構提携「リゅうぎんフラット35」取扱い開始 7 第122回定例営業店長会議 | 4. 1 「後期高齢者医療制度」開始 9 第30代日本銀行総裁に白川芳明氏就任 |
| | 5.30 第123回定例営業店長会議 30 第20回個人表彰授与式 30 地域力連携拠点「リゅうぎん経営相談センター」設置 | |
| | 6. 2 一時払終身医療保険「プライムロード」取扱いを全店に拡大 26 第92期定時株主総会 | 6.21 「振り込め詐欺救済法」施行 |
| | 7.11 「リゅうぎん友の会」定期総会 18 住宅ローン相談カー「ハローバンク1号」導入 25 『経営の健全化のための計画』未達による業務改善命令を受ける | 7. 7 「北海道・洞爺湖サミット」開催 14 信販会社(株)オックスが民事再生申請（負債額486億円は県内過去最大） |
| | 8. 1 確定拠出年金導入支援業務の取扱い開始 4 大学生インターンシップ受入れ 5 第6回「リゅうぎんキッズスクール」開催（リゅうぎん子どもお金教室を改称） 20 第17回「リゅうぎん紅型デザインコンテスト」表彰式 | 8. 8 北京夏季五輪開催 |
| | 9. 1 那覇・牧港・中部住宅ローンセンターで個人ローン取扱い開始 8 創立60周年記念「カードローンプレミアム」発売 | 9.15 米大手証券会社リーマン・ブラザーズが経営破綻 24 福田康夫首相が辞任、麻生太郎内閣発足 |
| | 10. 1 ロンパー・オディエ・ダリエ・ヘンチ信託の契約代理店業務開始 8 営業店映像集中監視システム稼働 9 第124回定例営業店長会議 | 10. 1 観光庁設立 10 大和生命が更生特例法の適用申請 27 株価、バブル崩壊後最安値更新、円は急騰1ドル90円を突破 31 日銀が公定歩合引下げ（0.75%→0.5%） |
| | 11.21 第125回定例営業店長会議 | 11.19 那覇地裁が泡瀬干潟埋め立て訴訟公金差止命じる |
| 2009 平成21 | 1. 5 投資信託の特定口座の取扱い開始 13 事業性融資夜間相談会開催 | 1. 5 「ゆうちょ銀行」全銀システムと接続 20 第44代米国大統領にバラク・オバマ氏就任 |
| | 2. 4 地域密着型金融の先進取組行として内閣府沖縄総合事務局より顕彰を受ける 24 第6回窓口対応ロールプレイング全行大会 | |
| | 3. — 開示債権比率が初めて1%台に（2009年3月期） | |
| | 4. 1 当行職員に対する確定拠出年金制度導入 9 第126回定例営業店長会議 | 4.24 ジュンク堂書店が県内に初出店 |
| | 5. 7 平準払い保険3商品を発売 28 第127回定例営業店長会議 28 第21回個人表彰授与式 | 5.21 裁判員制度施行 |
| | 6.25 第93期定時株主総会 25 総合企画部に関連事業室を設置 | |
| | 7. 1 法人向け生命保険商品を発売 1 インターネットによる住宅ローン相談受付開始 10 「リゅうぎん友の会」定期総会 | |
| | 8. 3 大学生インターンシップ受入れ 3 那覇・牧港・中部住宅ローンセンターおよび北部ローンプラザをそれぞれローンセンターに改称 12 女性プロジェクトチーム「チーム・サンフラワー」発足 18 第7回「リゅうぎんキッズスクール」 19 第18回「リゅうぎん紅型デザインコンテスト」表彰式 | 8.30 衆院選で民主党圧勝、政権交代 |

| 年号 | 当 行 | 社会の動き【 県内・国内・海外 】 |
|---------------|---|---|
| 2009 平成21 | 9. 24 那覇市役所内出張所が仮庁舎へ移転 | 9. 11 みちのく銀行、きらやか銀行、第三銀行、山梨県民信用組合に公的資金注入決定 16 鳩山由紀夫内閣発足、民主党政権誕生 21 那覇港泊ふ頭地区の大型旅客船専用バースの暫定供用を開始 |
| | 10. 1 新店舗戦略「ブロック制度」実施 9 第128回定例営業店長会議 | 10. 1 荘内銀行と北都銀行が経営統合「フィディアホールディングス」誕生 26 全日本空輸が那覇空港で国際貨物ハブ事業を開始 |
| | 11. 4 「懸賞金付琉神マブヤー定期預金」発売 4 「キャッシュバック定期預金ゆがふ」発売 13 第129回定例営業店長会議 | |
| | 12. 1 「NAHAMARASON応援定期」発売 14 審査部にローンサポートセンター設置 14 東風平支店が新築移転 | 12. 2 現代版組踊「肝高の阿麻和利」日本ユネスコ未来遺産に 4 中小企業金融円滑化法施行 6 第25回NAHAMARASON開催 |
| | 1. 4 「国税ダイレクト納付」の取扱い開始 | 1. 4 日本年金機構発足 19 日本航空が会社更生法を適用申請 |
| | 2. 27 第7回窓口対応ロールプレイング全行大会 | 2. 12 バンクーバー冬季五輪開催 |
| | 3. 1 住宅ローン相談カー「ハローバンク2号」導入 25 端末研修室を浦添ビルからりゅうぎん健保会館に移転 | 3. 1 関東つくば銀行と茨城銀行が合併「筑波銀行」誕生 29 県が「沖縄21世紀ビジョン」を策定了承（県が策定した初の長期構想） 31 「フィディアホールディングス（北都銀行）」に公的資金注入 |
| | 4. 1 中期経営計画「RISING PLAN2010」スタート（10年度～13年度） 6 りゅうぎん紅型デザインコンクール入賞作による「かりゆしウェア」製作・発表 9 第130回定例営業店長会議 22 日本格付研究所による当行格付が「A」に格上げ | |
| | 5. 28 第131回定例営業店長会議 28 第22回個人表彰授与式 | 5. 1 池田銀行と泉州銀行が合併「池田泉州銀行」誕生 18 ギリシャなどヨーロッパ諸国の債務危機拡大 28 普天間基地移設先は名護市辺野古と明記した日米共同声明発表 |
| | 6. 23 コンビニ収納サービス開始 25 第94期定時株主総会 25 コンサルティング営業部を設置 25 コンプライアンス統括部を設置 | 6. 8 菅直人内閣発足 18 改正貸金業法完全施行 |
| 2010 平成22年 | 7. 1 ホームページでライフプランシミュレーションサービス開始 9 「りゅうぎん友の会」定期総会 14 公的資金60億円を返済（第一種優先株式の買取り消却）、公的資金完済 15 行員再雇用制度導入 21 県内ファミリーマートとローソンのほぼ全店にコンビニATM設置 | 7. 28 全国高校総体「美ら島沖縄総体2010」が沖縄県内で初めて開催 |
| | 8. 16 大学生インターンシップ受入れ 17 第8回「りゅうぎんキッズスクール」 18 第19回「りゅうぎん紅型デザインコンテスト」表彰式 | 8. 21 甲子園大会で興南高校が春夏連覇 27 興南高校野球部に県民栄誉賞決定発表 |
| | | 9. 8 沖縄IT津梁パーク完成式典 10 日本振興銀行が民事再生法の適用申請、初のペイオフ発動 28 北朝鮮、金正日総書記の後継者に金正恩氏 |
| | 10. 8 第132回定例営業店長会議 25 小禄支店が移転 | 10. 1 金融ADR（裁判外紛争解決手続き）制度施行 |
| | 11. 9 食の大商談会「地方銀行フードセレクション2010」でビジネスクラブ会員の出展支援 13 第1回りゅうぎんグループ大運動会 26 第133回定例営業店長会議 | 11. 16 琉球王朝時代の国劇「組踊」がユネスコの無形文化遺産に |
| | 12. 1 新店舗戦略「広域ブロック制度」実施 — コンサルティング営業部に医療コンサルティングチーム設置 | 12. 5 第26回NAHAMARASON開催 27 プロゴルファーの宮里藍さんに県民栄誉賞 |

| 年号 | 当 行 | 社会の動き【 県内・国内・海外 】 |
|---------------|---|--|
| 2011 平成23年 | 1. 17 「りゅうぎんドクターズサポートローン」発売 24 医療関連業務で三菱UFJリース、琉球リースと業務提携 | 1. 26 民主党政権下で2011年度予算から沖縄振興自主戦略交付金を計上（2012年度から沖振法の改正によりソフト事業も対象にした沖縄振興一括交付金となる） |
| | 2. 7 石田出張所（りゅうぎんハロープラザ石田店）を新設 | |
| | 4. 1 りゅうぎん総合研究所内に「りゅうぎん金融資料館」開設 8 第134回定例営業店長会議 16 第8回窓口対応ロールプレイング全行大会 | 3. 11 M9.0の日本観測史上最大規模大地震「東日本大震災」発生、大津波で約2万3,500人超犠牲に 12 東京電力の福島第一原発で大規模な原子力事故 |
| | 5. 10 定期預金を活用した東日本大震災復興支援取組み 13 りゅうぎんビジネスクラブが「りゅうぎんマネジメントスクール」を起ち上げ 27 第135回定例営業店長会議 27 第23回個人表彰授与式 | |
| | 6. 6 個人向け生命保険商品のラインナップ充実 ・一時払定額年金保険・一時払変額年金保険・一時払終身保険・一時払終身医療保険・平準払定額年金保険 28 第95期定時株主総会 28 株式報酬型ストックオプション導入を株主総会で決議 | 6. 22 「東日本大震災被災金融機関に公的資金注入の特例を設ける改正金融機能強化法」成立 |
| | 7. 1 新研修体系「金融大学校」スタート 19 「第1期りゅうぎんマネジメントスクール」開講 29 「りゅうぎん友の会」定期総会 | 7. 15 「組踊歌三線」で西江喜春氏人間国宝に |
| | 8. 4 第9回「りゅうぎんキッズスクール」 10 投信・定期預金セット商品「りゅうぎんデュエットプラン」発売 12 「金融円滑化に向けた取り組みについて（2011年6月末基準）」公表 15 大学生インターンシップ受入れ 16 DBJアジア金融支援センター（日本政策投資銀行）と提携 17 「第20回りゅうぎん紅型デザインコンテスト」表彰式 | 8. 28 県内初の海底トンネル「那覇うみそらトンネル」（2.5km）が開通 |
| | 9. 12 タブレット端末「Ipad」100台を営業店に順次導入 30 帝国データバンク「メインバンク調査」（県内）で当行がメインバンク企業数トップに | 9. 2 野田佳彦内閣発足 30 仙台銀行と筑波銀行に公的資金注入（震災特例） |
| | 10. 14 第136回定例営業店長会議 | 10. 31 円相場1ドル75円32銭と最高値を記録 |
| | 11. 14 「金融円滑化に向けた取り組みについて（11年9月末基準）」公表 25 第137回定例営業店長会議 29 カシコン銀行（タイ）と大手金融機関を通じて業務提携 | 11. 11 環太平洋連携協定（TTP）に参加表明 |
| | 12. 1 (株)アジソンとアジア進出支援に係るコンサルタントの業務提携 20 「第1期りゅうぎんマネジメントスクール」修了式 | 12. 4 第27回NAHAマラソン開催 28 七十七銀行に公的資金注入（震災特例） |
| | 1. 15 モバイルバンキングのスマートフォン対応 | |
| | 2. 14 「金融円滑化に向けた取り組みについて（2011年12月末基準）」公表 21 全店舗を携帯キャリアのWi-Fiスポット化 | 2. 24 年金資金約2,000億円消失のAIJ投資顧問に業務停止命令 |
| | 3. 5 「個人向け復興応援国債」取扱い開始 5 インターネットによる保険販売の取扱い開始 19 「りゅうぎん点字通知サービス」開始 23 地域密着型金融の先進取組行として内閣府沖縄総合事務局より顕彰を受ける | 3. 30 改正沖縄振興特別措置法が成立（国際物流拠点産業集積地域の創設など） 31 中小企業金融円滑化法が1年延長 |
| | 4. 1 金城棟啓が代表取締役頭取に就任 1 大城勇夫が相談役に就任 1 中期経営計画「Break through2012」スタート（12年度～14年度） 1 りゅうぎんICキャッシュカードの有効期限撤廃 1 「Pay-easy」（税金・各種料金払込みサービス）取扱い開始 | |
| 2012 平成24年 | | |

| 年号 | 当 行 | 社会の動き【 県内・国内・海外 】 |
|---|--|---|
| 2012 平成24年 | 4. 6 第138回定例営業店長会議 21 第9回窓口対応ロールプレイング全行大会 23 新融資支援システム「融資支援plus(プラス)」稼働 24 「第2期りゅうぎんマネジメントスクール」開講 | |
| | 5. 10 野村アグリビジネス&アドバイザー(株)と業務提携 18 第139回定例営業店長会議 18 第24回個人表彰授与式 | 5. 15 県が「沖縄21世紀ビジョン基本計画」を策定(第5次振計に相当) 17 モノレール旭橋駅周辺地区再開発事業、南地区の事業完了 22 東京スカイツリー開業 25 名護市で「太平洋・島サミット」開催 |
| | 6. 20 本店営業部に「優先ATM」導入 28 第96期定時株主総会 | |
| | 7. 17 コンビニATMの「うちな一口」音声対応 27 「りゅうぎん友の会」定期総会 | 7. 3 宮古島与那覇湾をラムサール条約地に登録 27 ロンドン夏季五輪開催 31 東京電力実質国有化 |
| | 8. 1 ATMの「1日当たりの取引限度額」引下げ 1 事業用太陽光発電設備ローン「ていだパワー」発売 15 「第21回りゅうぎん紅型デザインコンテスト」表彰式 20 大学生インターンシップ受入れ 22 第10回「りゅうぎんキッズスクール」 | 8. 10 韓国李明博大統領が島根県の竹島を訪問 10 消費税増税法成立、2段階で10%へ |
| | 9. 3 沖縄県警察・那覇市消防本部と協力し「琉球銀行地域安全サポートプラン」取組み開始 4 「第2期りゅうぎんマネジメントスクール」修了式 | 9. 1 沖縄科学技術大学院大学(OIST)開学 11 尖閣列島国有化 18 十六銀行が岐阜銀行を吸収合併 19 日本航空が東証一部再上場 28 東北銀行に公的資金注入(震災特例) |
| | 10. 1 「りゅうぎんWeb口座受付サービス」の取扱い開始 5 第140回定例営業店長会議 23 食の商談会「地方銀行フードセレクション2012」でビジネスクラブ会員の出展支援 | 10. 1 きらやか銀行と仙台銀行が経営統合「じもとホールディングス」誕生 1 普天間飛行場にオスプレイ配備 21 第52回ミスインターナショナル世界大会を沖縄で開催 |
| | 11. 1 iPadアプリに「投資信託INDEX」「Acti Book」導入で顧客提案ツール充実 14 「金融円滑化に向けた取り組みについて(2012年9月末基準)」公表 16 第141回定例営業店長会議 26 りゅうぎんビジネスローン「Active+(アクティブプラス)」発売 | 11. 15 中国、習近平新指導部発足 |
| | 12. 1 営業統括部に融資推進グループ、ローンサポートグループ、医療・福祉推進グループを設置 17 「南部ローンセンター+(プラス)」開設 19 日本通運(株)福岡支店と国際業務に関する業務提携 | 12. 2 第28回NAHAMARASON開催 26 第2次安倍内閣発足 28 「じもとホールディングス」に公的資金注入(震災特例) |
| | 1. 4 那覇市役所内出張所が那覇市役所新庁舎へ移転 | 1. 1 東京証券取引所グループと大阪証券取引所が合併「日本取引所グループ」誕生 27 普天間県内移設オスプレイ反対「建白書」携え「東京行動」を展開 |
| | 2. 14 (株)モクモク農農村産業研究所と業務提携 3. 4 真嘉比支店を新設 4 真嘉比支店に併設して「真嘉比ローンセンター+(プラス)」開設 15 「りゅうぎん中小企業再生ファンド」設立 28 「りゅうぎんATMナビ」アプリのサービス提供 | 2. 18 「全銀協でんさいネット」県内始動 3. 7 新石垣空港「南ぬ島」開港 15 TPP参加を正式表明 20 第31代日本銀行総裁に黒田東彦氏就任 31 「中小企業金融円滑化法」終了 |
| | 4. 1 「就職活動応援ローン」発売 5 第142回定例営業店長会議 12 「第3期りゅうぎんマネジメントスクール」開講 | 4. 1 那覇市が中核都市に移行 4 日銀が「量的質的金融緩和政策」開始 4 安倍内閣の経済政策「アベノミクス」本格始動 |
| 5. 15 「金融円滑化に向けた取り組みについて(2013年3月末基準)」公表 (株)日本政策投資銀行と顧客M&A情報等で業務提携 17 第143回定例営業店長会議 17 第25回個人表彰授与式 28 第31回沖縄広告協会「広告賞」でテレビ部門金賞を受賞 | | |
| 2013 平成25年 | | |

| 年号 | 当 行 | 社会の動き【 県内・国内・海外 】 | |
|---|---|---|---|
| 2013 平成25年 | 5.29 沖縄海邦銀行とコザ信用金庫との共同で「第1回沖縄の味力(みりよく)発信商談会」開催 31 「おきなわ事業再生支援ファンド」設立 | | |
| | 6.10 ホームページで「ローンシミュレーション・プログラム」サービス開始 27 第97期定時株主総会 | 6.22 「富士山」世界文化遺産に登録決定 | |
| | 7.6 大学生向け「リゅうぎんアントレプレナー支援セミナー」開催 19 「リゅうぎん友の会」定期総会 23 メトロポリタン銀行(フィリピン)と大手金融機関を通じて業務提携 24 米国財務省小切手・外貨小切手・旅行小切手(T/C)の取扱い業務終了 30 「第22回リゅうぎん紅型デザインコンテスト」表彰式 | 7.1 みずほコーポレート銀行とみずほ銀行が合併「みずほ銀行」誕生 | |
| | 8.1 教育資金一括贈与預金「リゅうぎん教育応援預金」発売 6 「北谷ローンセンター」開設 7 第11回「リゅうぎんキッズスクール」 12 大学生インターンシップ受入れ 31 第10回窓口対応ロールプレイング全行大会 — オンデマンド印刷機を導入した印刷室「デジタルアンダーグラウンド」設置 | | |
| | 9.3 「第3期リゅうぎんマネジメントスクール」修了式 26 全日本シーエム放送連盟主催「2013 53rd ACC CM フェスティバル」のテレビCM部門で「ファイナリスト賞」受賞 | 9.8 2020年オリンピック、パラリンピック東京開催決定 | |
| | 10.1 普通預金通帳デザイン刷新 1 国土交通省および一般社団法人環境不動産普及促進機構とのパートナー協定締結 4 第144回定例営業店長会議 22 第3回期限前償還条項付無担保社債(劣後特約付)120億円発行(10/22申込期限) | | |
| | 11.14 「金融円滑化に向けた取組みについて(2013年9月末基準)」公表 15 第145回定例営業店長会議 | 11.14 沖縄大交易会のプレ交易会開催 | |
| | 12.2 (株)Tポイント・ジャパンとTポイントサービス導入で業務提携 2 学生応援ローン「ガクワリ君」発売 13 ベトコムバンクと大手金融機関を通じて業務提携 | 12.1 第29回NAHAマラソン開催 30 日経平均株価が6年2カ月ぶりの高値(終値16,291円31銭) | |
| | 2014 平成26年 | 1.6 「New窓口収納サービス」開始 6 NISAの取り扱い開始 28 預金相続事務センターを開設 28 iPhoneとAndroid向け「リゅうぎんローンナビ」サービス開始 | 1.1 読谷村が日本一人口の多い村に(人口41,046人) 6 航空機整備施設にANAグループ整備会社の入居が決定 6 少額投資非課税NISAの取扱い開始 9 那覇空港第2滑走路の埋め立て承認 |
| | | | 2.7 ソチ冬季五輪開催 17 那覇空港の新しい国際線ターミナルビルの供用開始 25 全国主要都市の地価公示価格(1月1日時点)で調査対象の81.3%が上昇 |
| 3.28 取締役会で(株)琉球リースの連結完全子会社化を決議 — 「パーゼルIII国内基準」適用(14年3月期) | | 3.5 慶良間諸島が国立公園に指定される 28 沖縄県が戦略特区「国際観光拠点」に指定される — 「パーゼルIII」適用開始(14年3月期) | |
| 4.1 職員向け確定拠出年金制度にマッチング拠出を導入 1 「しあわせのフリーローン」発売 4 第146回定例営業店長会議 4 当行公式Facebookページを開設 4 (株)琉球リースを連結子会社化 22 「第4期リゅうぎんマネジメントスクール」開講 28 営業店支援システム「Bank neo」導入 | | 4.1 消費税率を5%から8%へ引上げ実施 | |
| 5.16 第147回定例営業店長会議 16 第26回個人表彰授与式 20 第32回沖縄広告協会「広告賞」でテレビ部門金賞「子どもと哲学」および銀賞「リゅうぎんロボ」を受賞 | | 5.1 沖縄県が国家戦略特区に指定される | |

| 年号 | 当 行 | 社会の動き【 県内・国内・海外 】 |
|---------------|--|--|
| 2014 平成26年 | 6. 11 (株)OKINAWA J-Adviserと業務提携 20 「リゅうぎん6次産業化ファンド投資事業有限責任組合」共同設立 25 営業推進部を設置 25 中国信託ホールディング(台湾)と業務提携 25 第98期定時株主総会 30 生命保険相談業務を付加し「牧港ローンセンター+(プラス)」に改称 | |
| | 7. 4 県内3金融機関合同「第2回沖縄の味力(みりょく)発信商談会」開催 18 「リゅうぎん友の会」定期総会 22 第12回「リゅうぎんキッズスクール」 28 リゅうぎん保険コールセンター開設 | 7. 1 政府が集団的自衛権の行使容認を閣議決定 14 沖縄返還密約文書開示を求めた訴訟で最高裁は上告を棄却 |
| | 8. 1 「しあわせのカードローン」発売 4 琉球大学産学官連携推進機構と連携協定書を締結 5 「第23回リゅうぎん紅型デザインコンテスト」表彰式 18 大学生インターンシップ受入れ | 8. 18 沖縄防衛施設局が辺野古埋立て工事に向けた調査開始 25 南西海運が台湾・中国航路を開設し台湾船会社と業務提携 |
| | 9. 1 住宅ローンの調書電子化システム稼働 1 独立行政法人日本貿易保険と業務提携 3 「第4期リゅうぎんマネジメントスクール」修了式 6 第11回窓口対応ロールプレイング全行大会 | 9. 21 沖縄三越が閉店 |
| | 10. 1 第148回定例営業店長会議 14 生命保険相談業務を付加し「北部ローンセンター+(プラス)」に改称 27 生命保険相談業務を付加し「中部ローンセンター+(プラス)」に改称 31 「リゅうぎん純金積立」の取扱い終了 | 10. 1 東京都民銀行と八千代銀行が経営統合「東京TYフィナンシャルグループ」誕生 20 ゆいレールのIC乗車券「OKICA」発行 31 日銀が追加緩和決定(量的質的緩和の拡大) |
| | 11. 14 円安対策支援融資の取扱い開始 14 第149回定例営業店長会議 21 公益社団法人企業メセナ協議会主催メセナアワードで「リゅうぎん紅型デザインコンテスト」が優秀賞受賞 | 11. 16 県知事選挙で翁長雄志氏が当選 |
| | 12. 8 マレーシアハラルコーポレーションと業務提携 8 「琉球銀行ファンサイト」開設 16 第1回那覇「環境絵日記」コンテストへの協賛および「琉球銀行賞」を提供 18 「沖縄ものづくり振興ファンド有限責任事業組合」に出資・参画でファンド設立 30 NPO法人日本アジアハラル協会と業務提携 | 12. 7 第30回NAHAマラソン開催 18 全銀協が他行振込可能時間帯拡大(24時間・365日可能)決定 18 琉球海運が商船三井と業務提携により台湾を中継地としたコンテナ輸送を拡充 27 消費税率10%への引き上げを1年半先送り決定 |
| | 2. 2 「リゅうぎん預金連動型住宅ローン」(キャッシュバックローン)発売 6 東京海上日動火災保険と琉球総合保険サポートとの海外進出支援事業に関する3社間業務提携 23 大謝名支店が移転 23 大学生インターンシップ受入れ | 1. 31 伊良部大橋開通(3,540m) |
| | 3. 1 「第2回リゅうぎんアントレプレナー」支援表彰 9 リゅうぎんインターネットバンキング「ローンサービス」開始 22 インターネットバンキングによる投信積立「つみとくん」の取扱い開始 31 宝くじ販売業務の終了 | 3. 5 金融庁と東京証券取引所「コーポレートガバナンスコード」決定 31 キャンプ瑞慶覧・西普天間住宅地区を返還 |
| | 4. 1 中期経営計画「Shared Value 2015」スタート(15年度～17年度) 1 「インターネットバンキングLight」取扱い開始 1 「リゅうぎんリバースモーゲージ」発売 1 リゅうぎんくでんさいサービス「一括請求Assist@」取扱い開始 3 第150回定例営業店長会議 3 (株)OCS(呼称:オックス)の株式を取得し完全子会社化 6 両替機利用手数料を新設 16 「第5期リゅうぎんマネジメントスクール」開講 | 4. 22 日経平均株価が15年ぶりに2万円台(20,133円90銭) 25 大型商業施設イオンモール沖縄ライカムが開業 28 南西石油が製油を停止(2016年3月には石油製品販売も停止) |
| | 2015 平成27年 | |

| 年号 | 当 行 | 社会の動き【 県内・国内・海外 】 |
|---------------|--|---|
| 2015 平成27年 | 5. 18 預かり資産保存帳票電子化システム「Azukariアーカイブ」導入 25 那覇ローンセンターが「那覇ローンセンター+ (プラス)」に改称 28 第151回定例営業店長会議 28 第27回個人表彰授与式 | 5. 1 改正「会社法」施行 21 大型MICE施設建設地をマリンタウン東浜 (与那原町、西原町) に決定 22 東証一部時価総額が591兆円でバブル期 (1989年12月) 超え |
| | 6. 1 「沖縄活性化投資事業有限責任組合」(沖縄活性化ファンド) 設立に参画 3 県内3金融機関合同「第3回沖縄のみりょく(味×観)発信商談会」開催 15 北谷ローンセンターが「北谷ローンセンター+ (プラス)」に改称 16 第三者への事業承継 (M&A) 専用相談窓口の開設 25 第99期定時株主総会 25 企業支援部を法人営業部に改称 30 (株)ジェイ・ウィル・インターナショナルとタイ進出支援に関して業務提携 | 6. 2 円相場125円7銭と12年半ぶりの安値 |
| | 7. 1 住宅ローンの最長返済期間を40年に延長 17 「りゅうぎん友の会」定期総会 | |
| | 8. 5 第13回「りゅうぎんキッズスクール」 8 第12回窓口対応ロールプレイング全行大会 17 大学生インターンシップ受入れ 26 「第24回りゅうぎん紅型デザインコンテスト」表彰式 | 8. 12 伊計島沖で米軍ヘリ墜落 |
| | 9. 1 肉用牛繁殖農家向けローン「モーちゃんパワー」発売 9 「第5期りゅうぎんマネジメントスクール」修了式 16 アルファ債権回収(株)と業務提携 | 9. 4 県がアジア経済戦略構想を策定 19 安保関連法案成立 28 鹿児島銀行が県外の地銀で初出店 (沖縄支店) |
| | 10. 1 「りゅうぎんVisaデビットカード」取扱い開始 1 Asia Creative Works Pte Ltdとシンガポール・ASEAN進出支援に関して業務提携 2 第152回定例営業店長会議 | 10. 1 肥後銀行と鹿児島銀行が経営統合「九州フィナンシャルグループ」誕生 4 環太平洋経済連携協定 (TPP) 大筋合意 13 翁長県知事が辺野古埋め立て承認を取消し 26 国土交通相が辺野古埋め立て取り消しの効力停止を決定 |
| | 11. 20 第153回定例営業店長会議 24 ダイレクトバンキングセンターとりゅうぎんEBセンターを琉球リース総合ビル内へ移転 30 本店営業部に人型ロボット「ベッパ」導入 | 11. 2 足利ホールディングスと常陽銀行が経営統合に基本合意 4 日本郵政グループ3社の株式が東証一部上場 |
| | 12. 9 県外地銀3行と「香港美食商談会」共同開催 25 Vine (バイン) 公式アカウント開始 | 12. 6 第31回NAHAマラソン開催 16 米FRBが9年半ぶりに金利を年0.25%引き上げ |
| | 1. 26 那覇市と「地方創生にかかる連携・協力に関する協定」締結 | 1. 1 マイナンバー (個人番号) 制度施行 29 日銀がマイナス金利導入を決定 |
| | 2. 1 沖縄プロスポーツ応援定期預金「Vチャレンジ」発売 5 「Fin Tech (フィンテック) ファンド」へ出資 19 大学生インターンシップ受入れ | 2. 9 長期金利 (10年物国債利回り) が初のマイナス 16 日銀がマイナス金利政策を実施 |
| 2016 平成28年 | 3. 1 「りゅうぎん住宅取得応援ローン (住まいるくん)」発売 4 与那原町と「地方創生にかかる連携・協力に関する協定」締結 7 セブン銀行とATM利用提携 15 「沖縄県福祉のまちづくり賞」で沖縄県知事賞受賞 23 第2回期限前償還条件付無担保社債 (劣後特約付) を全額期限前償還 28 あおぞら銀行と地方創生に関する業務提携 | 3. 24 短期社債 (CP) が初のマイナス利回り 25 千葉銀行と武蔵野銀行が包括提携 29 アジア経済戦略構想の推進計画を策定 |
| | 4. 1 女性活躍推進法「一般事業主行動計画」公表 8 第154回定例営業店長会議 8 りゅうぎんオフィスサービス(株)の解散を取締役会で決議 12 スマートフォン (iphone) 965台を全部店に導入 19 「第6期りゅうぎんマネジメントスクール」開講 25 ATMでの海外発行カード対応サービスの取扱い開始 | 4. 1 南西石油が石油製品販売を停止 1 横浜銀行と東日本銀行が経営統合し「コンコルディア・フィナンシャルグループ」誕生 1 東京TYフィナンシャルグループと新銀行東京が経営統合 14 熊本地震 |
| | 5. 2 住宅ローンの最長返済期間を50年に延長 2 (株)サイバーエージェント・クラウドファンディングと業務提携 | 5. 27 オバマ米大統領が現職の大統領として初めて被爆地広島を訪問 |

| 年号 | 当 行 | 社会の動き【 県内・国内・海外 】 | |
|--|---|--|------------------------------|
| 2016 平成28年 | 5. 2 リゅうぎんリバースモゲージ「ゆうゆう人生60」の対象地域拡大 17 為替予約特約付外貨定期預金「マイチョイス」発売 27 第155回定例営業店長会議 27 第28回個人表彰授与式 | | |
| | 6. 1 じゅうだん会「なないろキャンペーン」(6/1~8/31) 2 県内3金融機関合同「第4回沖縄のみりよく(味×観)発信商談会」開催 3 インターネット電話「Skype(スカイプ)」導入 28 第100期定時株主総会 30 リゅうぎんオフィスサービス(株)が解散 | 6. 1 消費税率引上げ2019年10月まで先送り正式表明 19 改正公職選挙法が施行され選挙権年齢が18歳に引上げ 19 米軍属による女性殺害事件抗議県民大会6万5千人参加 | |
| | 7. 1 「第1回中日韓商品展」開催 1 事務集中部を設置 19 田原支店が移転 28 沖縄市と「創業及びスタートアップ支援に係る連携・協力に関する協定」締結 | 7. 10 参院選で自民・公明の与党が大勝 31 小池百合子氏が女性初の東京都知事に当選 | |
| | 8. 2 「第25回リゅうぎん紅型デザインコンテスト」表彰式 12 タブレット端末「iPad」に「Skype for Business」を導入し営業店支援を強化 16 アパートローン「沖縄大好き 夢」発売 16 第14回「リゅうぎんキッズスクール」 19 「リゅうぎん友の会」定期総会 22 大学生インターンシップ受入れ | 8. 4 「空手」が2020年東京オリンピックの追加種目に決定 5 リオデジャネイロ夏季五輪開催 | |
| | 9. 2 「第6期リゅうぎんマネジメントスクール」修了式 3 第13回窓口応対ロールプレイング全行大会 28 全日本シーエム放送連盟主催「2016 56rd ACC CMフェスティバル」のフィルム部門でACCブロンズ賞受賞 | | |
| | 10. 3 リスク性金融商品販売における「Skypeサポート」システム導入 7 第156回定例営業店長会議 11 北谷支店と「北谷ローンセンター+ (プラス)」が新築移転 | | |
| | 11. 18 第157回定例営業店長会議 21 ロボ・アドバイザー「PORT STAR (ポースター)」導入 | | |
| | 12. 5 「リゅうぎんスタートアップ・プログラム2016」始動 | 12. 4 第32回NAHAMARASON開催 8 自民党税制改正大綱で沖縄税制の軽減措置の延長期間短縮を決定 13 名護市安部海岸にオスプレイ機墜落 20 辺野古埋め立て承認取消し訴訟、最高裁で県敗訴 | |
| | 2017 平成29年 | 1. 10 上ノ蔵支店が移転と同時に若狭支店へ改称 17 「リゅうぎんカード加盟店サービス」開始 30 糸満支店が移転 | 1. 20 第45代米国大統領にドナルド・トランプ氏就任 |
| | | 2. 13 「リゅうぎんATM宝くじサービス」開始 20 具志川支店が新築移転 20 大学生インターンシップを受入れ | |
| 3. 6 壺屋支店が移転 | | 3. 4 沖縄空手会館開館 29 イギリスがEU離脱正式通知 | |
| 4. 1 川上康が代表取締役頭取に就任 1 金城棟啓が代表取締役会長に就任 1 中期経営計画「Customer Centric 2017」スタート(17年度~19年度) 1 法人事業部を設置 3 事業者カードローン「事速300」発売 3 事業承継サポートローン「未来リレー」発売 3 タブレット端末「iPad」を活用したローン受付開始 7 第158回定例営業店長会議 | | 4. 6 県振興審議会が沖縄21世紀ビジョン基本計画改定案を知事に答申 | |
| 5. 1 スマートフォン用アプリ「リゅうぎんGO」配信開始 19 「第7期リゅうぎんマネジメントスクール」開講 26 第159回定例営業店長会議 26 第29回個人表彰授与式 | | 5. 10 韓国大統領に文在寅氏就任 | |

| 年号 | 当 行 | 社会の動き【 県内・国内・海外 】 |
|---------------|---|--|
| 2017 平成29年 | 6. 1 県内3金融機関合同「第5回沖縄のみりょく(味×観)発信商談会」開催 28 第101期定時株主総会 30 「お客様本位の業務運営に関する取組方針」公表 | 6. 12 大田昌秀元沖縄県知事が逝去 |
| | 7. 5 企業向けコミュニケーション・プラットフォームサービス「Workplace」導入 28 「リゅうぎん友の会」定期総会 31 (株)琉球リースを100%子会社化 | 7. 11 共謀罪施行 |
| | 8. 1 ローソンセンタープラスの来店予約サービス開始 1 同性カップルのマイホーム支援「連帯債務制度」の利用可能に 1 「第26回リゅうぎん紅型デザインコンテスト」表彰式 1 第15回「リゅうぎんキッズスクール」 21 大学生インターンシップの受入れ | |
| | 9. 2 第14回窓口対応ロールプレイング全行大会 15 「第7期リゅうぎんマネジメントスクール」修了式 29 SMBC日興証券(株)と顧客紹介に関して業務提携 | |
| | 10. 1 職員のキャリア形成支援および子育て世代への支援拡充の施策(復職支援手当、教育支援手当の新設等)を公表 2 「オキナワ・スタートアップ・プログラム」始動 4 第160回定例営業店長会議 4 具志川支店の店舗デザインが2017年度グッドデザイン賞を受賞 | 10. 11 東村高江の民間地で米軍大型ヘリ炎上 22 衆議院選で自民大勝 31 農連市場閉鎖 |
| | 11. 1 総務部を設置 3 大城勇夫相談役が旭日小綬章受章 6 Japan Digital Designと業務提携 13 「ナイス・リアルタイムソリューション(NICE RTS)」システム導入 14 カード加盟店サービスにおけるPOSレジ連動対応開始 15 那覇ポート出張所と今帰仁出張所が支店に昇格 17 第161回定例営業店長会議 | 11. 1 「のうれんプラザ」本格オープン 6 安倍首相がトランプ大統領と日米首脳会談 |
| | 12. 1 個人ローンの「ガン保障特約付団体信用生命保険」付保の取扱い開始 15 (株)ミニマル・テクノロジーと業務提携 19 崎間晃顧問(元頭取)逝去 20 イーギャランティ(株)と業務提携 29 全役職員へ業務用iphoneを貸与 | 12. 1 天皇陛下2019年4月30日退位、翌日5月1日皇太子さま即位決まる 3 第33回NAHAMARASON開催 |
| | 1. 4 積立NISAの取扱い開始 4 「リゅうぎん家族de信託」の取扱い開始 9 坂田支店が移転 11 両替手数料に「硬貨選別手数料」新設 17 タクシー事業者へのカード加盟店サービス開始 24 則和企业管理顧問有限公司(台湾)と業務提携 29 県外地銀4行共同の「香港美食商談会」開催 | 1. 1 札幌信用金庫・小樽信用金庫・北海信用金庫が合併「北海道信用金庫」誕生 4 少額投資非課税「つみたてNISA」取扱い開始 16 2017年の訪日外国客数が2,869万人、64年の統計開始以降最多 19 2017年の沖縄入域観光客数が939万人で初の900万人台を記録 |
| | 2. 1 (株)SBI証券と金融商品仲介業務を開始 20 「BORベンチャーファンド1号投資事業有限責任組合」設立 20 大学生インターンシップを受入れ 23 (株)プラスディと業務提携 26 那覇出張所を若狭支店内に移転 26 (株)スタディストと業務提携 28 「All Japan観光ファンド」に出資決定 | 2. 2 2017年の八重山入域観光客数が138万人と過去最高を記録 9 平昌冬季五輪開催 |
| | 3. 1 多言語対応支援に関する「フートレック社」と提携 5 「ベンチャーキャピタルSpiral Ventures Pte.Ltd」と業務提携 12 創立70周年事業で女性職員の冬制服刷新(11月から着用) 19 タブレット端末を活用した生命保険申込システムを導入 26 牧港支店が新築移転 26 「牧港ローソンセンター+(プラス)」が牧港支店ビル内に移転 | 3. 8 金融庁が仮想通貨交換業者7社を行政処分 16 大学生の就職内定率が91.2%(2/1現在)で過去最高 16 うるま市にショッピングモール「ABLOうるま」オープン 18 臨港道路浦添線と浦添北道路(全長4.5キロ)開通 |
| 2018 平成30年 | | |

| 年号 | 当 行 | 社会の動き【 県内・国内・海外 】 |
|---------------|--|--|
| 2018 平成30年 | 3. 30 「リゅうぎんVisaデビットカード」の3Dセキュアサービス開始 30 (一財)リゅうぎん国際化振興財団が「リゅうぎん海外留学支援事業」開始 | |
| | 4. 1 営業統括部にITチャネル戦略室、メディア戦略室を設置 1 営業推進部内にEB推進室を設置 1 専任行員制度廃止 4 第162回定例営業店長会議 11 則和企業管理顧問有限公司(台湾)へ職員を研修派遣 20 「第8期リゅうぎんマネジメントスクール」開講 26 Amazon Web Servicesの本番システム稼働開始 | 4. 26 2017年度国営沖縄記念公園の入園者786万人と過去最高 |
| | 5. 1 スマホ無料アプリ「リゅうぎんwith CRECO」提供 1 琉球銀行テーマソング「太陽雨」(MONGOL800)発表 18 第163回定例営業店長会議 18 第30回個人表彰授与式 18 金地金業務の取扱い終了 21 「リゅうぎんWeb申込サイト」サービス開始 | 5. 1 東京都民銀行・八千代銀行・新銀行東京の三行が合併「きらぼし銀行」誕生 9 金融庁が金融を取り巻く環境変化に対応した規制の見直しを発表 14 日本航空(株)が中距離LCC会社の設立を発表 21 三菱UFJフィナンシャル・グループとAkamai Technologies,incが新型ブロックチェーン開発 |
| | 6. 9 創立70周年事業テレビ番組「Ryugin Good News」放映 18 浦添支店が牧港支店内に移転(ランチインランチ) 20 座間味村観光協会とカード加盟店サービスの提携 27 第102期定時株主総会 | 6. 4 那覇市が「宿泊施設の整備に着目した容積率緩和」制度の運用開始 12 シンガポールで史上初の米朝首脳会談 15 住宅宿泊事業法(民泊新法)施行 |
| | 7. 4 キャッシュカード等即時発行サービス開始 17 古島支店が真嘉比支店内に移転(ランチインランチ) 27 「リゅうぎん友の会」定期総会 31 第27回「リゅうぎん紅型デザインコンテスト」表彰式 | 7. 2 (株)セブン-イレブン沖縄が浦添市に専用工場の建設発表 5 2017年度の観光収入6,979億円と5年連続過去最高更新 10 昭和シェル石油(株)と出光興産(株)が経営統合締結 |
| | 8. 1 第16回「リゅうぎんキッズスクール」 10 「第8期リゅうぎんマネジメントスクール」修了式 20 大学生インターンシップ受入 | 8. 8 翁長雄志沖縄県知事逝去 10 金融庁が(株)ローソン銀行に銀行業免許を付与 |
| | 9. 25 13年ぶりに新株発行による増資 | 9. 30 県知事選挙で玉城デニー氏当選 |
| | 10. 3 牧港支店の店舗デザインが2018年度グッドデザイン賞を受賞 3 第164回定例営業店長会議 9 他行向け振込の即時決済システム稼働 | 10. 1 新那覇バスターミナル始動 |

あとがき

琉球銀行は、2018年5月1日に創立70周年を迎えました。その前年に記念事業の一環として『琉球銀行七十年史』の刊行が企画され、編纂をりゅうぎん総合研究所が行うこととなり、専担者1人を配置して2017年6月から本格的に作業をスタートさせました。年史の編纂は、1985年に刊行した『琉球銀行三十五年史』以来、実に35年ぶりになります。

本史は大きく第I部と第II部で構成しています。第I部は1948年5月の創立から1983年度までを対象とし、第II部は1984年度から2017年度までを対象としています。第I部は基本的に『琉球銀行三十五年史』から転載しました。

『琉球銀行三十五年史』は、財団法人日本経営史研究所主催の第5回「優秀会社史賞」を受賞した440(本文)ページもの大著です。今回の『琉球銀行七十年史』を編纂するにあたっては、『琉球銀行三十五年史』を約半分に割愛しながらも、できるだけ原文のまま掲載することを方針としました。

さて、『琉球銀行七十年史』の第I部は、米国軍政府布令によって創設された当行が、日本の金融史上例をみない銀行であったこと、1972年の本土復帰とともに普通銀行として新たなスタートを切り、リーディングバンクとして引き続き重要な役割を担ったことを、数多くの資料を用いて詳細につづっています。

第II部は、デフレ不況のもとで不良債権問題が重くのしかかる中、400億円の公的資金を導入して経営の再構築に取り組んだこと、公的資金返済後は新生「りゅうぎん」として力強く歩み始めたことなどを軸に、読みやすくまとめてみました。第II部の構成は、第1章、第2章、第3章とも節立てを「取り巻く環境」「中・長期経営計画の変遷」「営業推進」「事務管理」「融資管理」「経営管理」「人事・厚生」「地域貢献」「関連会社等」で構成しています。

編纂作業は、第II部の本文を照屋正が執筆。2018年4月に編纂メンバーに加わった新垣貴史が第I部の編集と資料編の作成を担当しました。さらに、7月には具志恵子が資料作成に加わり、最終的に3人体制で作業を進めました。

本史の題字は書家の茅原南龍先生に揮毫していただきました。心より感謝申し上げます。また本史の制作にあたり、丸正印刷株式会社の皆さまには、制作全般にわたり懇切なご指導をいただきました。心よりお礼申し上げます。行内においては各部の協力をいただいたほか、先輩各位から貴重なご教示をいただきました。厚くお礼申し上げます。

最後に、地域の皆さまにとって本史が、当行の歩みをご理解いただく一助となり、当行職員にとっては次代の道標になれば幸いです。

2019年4月

株式会社りゅうぎん総合研究所
代表取締役社長 照屋 保

琉球銀行七十年史

2019年 4月 発行

発 行 株式会社 琉球銀行
沖縄県那覇市久茂地 1 丁目 11 番地

編 集 株式会社りゅうぎん総合研究所
沖縄県那覇市壺川 1 丁目 1 番地 9
りゅうぎん健保会館 3 階

印 刷 丸正印刷株式会社
沖縄県西原町小那覇 1215 番地

